

2026(令和8)年度

履修の手引き

コミュニティ生活学科

食物栄養学科

保育学科



広島文化学園短期大学

目 次

広島文化学園短期大学	ディプロマ&カリキュラム・ポリシー	1
広島文化学園短期大学	アセスメントプラン	4
学科共通		
学修計画について		5
卒業要件と学位		5
単位の認定		5
資格について		6
履修について		6
G P A		7
学業成績不振学生への対応		7
広島文化学園短期大学の教養教育の理念・目的		8
広島文化学園短期大学におけるリベラルアーツについて		8
短期大学の副専攻プログラムについて		9
コミュニティ生活学科		
学科課程表		10
学修成果		14
カリキュラムマップ		15
食物栄養学科		
学科課程表		17
学修成果		19
カリキュラムマップ		20
保育学科		
学科課程表		21
学修成果		23
カリキュラムマップ		24
履修規程		
広島文化学園短期大学履修規程		25

広島文化学園短期大学 ディプロマ&カリキュラム・ポリシー

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

広島文化学園短期大学では、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する要件として、所定の単位を修得し、広島文化学園の建学の精神である「究理実践」に基づき、専門の知識・技術、職業又は實際生活に必要な能力、幅広く深い教養及び総合的な判断力、豊かな人間性、地域社会及び国際社会の発展に貢献できる力を身に付けることを求める。

具体的には次の4つの事項を求める。

- (1) 知識・理解
専攻する学問分野及び職業生活や社会生活に必要な基本的な知識を体系的に理解する。
- (2) 汎用的技能
専攻する学問分野に関する知的活動や職業生活、及び社会生活に必要な汎用的技能を身に付ける。
- (3) 態度・志向性
平和を希求し、地域社会の発展に積極的に貢献しようとする態度と志向性を身に付ける。
- (4) 総合的な学修経験と創造的思考力
知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題を解決する能力を身に付ける。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに示す4つの区分ごとに「最終的な学修到達目標」と「具体的な下位項目」をカリキュラムマップで示し、学修者中心の視点から学生のニーズに対応して、教養教育・専門教育・キャリア教育の三位一体となった教育課程を編成する。

なお、学修方法、学修内容、学修成果の評価は、次のように定める。

- (1) 学修方法
授業では、講義、演習、実験、実習等の教育内容に応じて、アクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用し、理論と実践を往還する学修を行う。
- (2) 学修内容
教養教育、専門教育及びキャリア教育に関する授業科目をバランスよく配置するとともに、大学への適応及び学修スキルの修得等のための初年次教育の充実を図る。
 - 1) 教養教育では、豊かな人間性に関する「生活と文化」、総合的な判断力に関する「数理・情報」、対話に基づく自己実現及び社会参画・社会貢献に関する「コミュニケーション」の3つの区分を置き、各区分に学科の専門教育及びキャリア教育との相乗効果が期待できる科目を配置する。
 - 2) 専門教育では、各学科の教育目的を達成するために必要な、必修科目と選択科目による体系的な教育課程を編成する。
 - 3) キャリア教育では、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるために、教養教育及び専門教育を通してキャリア形成力を養う。
- (3) 学修成果の評価
学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプラン、アセスメントプラン・チェックリストに基づき実施する。

コミュニティ生活学科

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

コミュニティ生活学科では、所定の単位を修得し、以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士（生活総合学）の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - 1) 生活に関する知識を身に付けている。
 - 2) 衣生活、食生活、人間関係に関する基本的知識を身に付けている。
 - 3) ファッション分野・フード分野の専門的知識を身に付けている。
 - 4) 社会的及び職業的自立を図るために必要な知識を身に付けている。
- (2) 汎用的技能
 - 1) 生活に関する技能を身に付けている。
 - 2) 衣生活、食生活、人間関係に関する基本的技能を身に付けている。
 - 3) ファッション分野・フード分野の専門的技能を身に付けている。
 - 4) 社会的及び職業的自立を図るために必要な汎用的技能を身に付けている。
- (3) 態度・志向性
 - 1) 個性豊かな生活づくりをする姿勢を身に付けている。
 - 2) 地域社会の文化形成に貢献する姿勢を身に付けている。
- (4) 総合的な学修経験と創造的思考力
 - 1) これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。
 - 2) 自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

コミュニティ生活学科の教育目的「衣、食、住、人間関係等の生活に関わる幅広い専門的知識と技能を養い、個性豊かな生活づくりと地域社会の文化形成に貢献できる人材を育成することを目的とする」を達成するために、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

（1）学修方法

- 1）実施する授業の形態は、講義、演習、実習をバランスよく配置し、知識と技能の修得を図る。
- 2）学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニングを実施する。
- 3）学内外での授業・研究等の成果発表やボランティア活動など、実践的な教育を重視した教育を実施する。

（2）学修内容

- 1）幅広く深い教養を培い、豊かな人間性を涵養するために教養科目を配置する。
- 2）専門科目は、生活に関する基本的知識・技能を総合的に養う「ライフデザインフィールド」、ファッションに関する専門的知識・技能を養う「ファッションフィールド」、フードに関する専門的知識・技能を養う「フードフィールド」、社会的及び職業的自立を図るために必要な知識と技能を養う「キャリアサポートフィールド」を設け、それぞれの目標達成のために必要な科目を配置する。
- 3）初年次教育として「セミナーⅠ」「セミナーⅡ」を配置し、学生生活への適応及び学修スキルの向上を図る。

（3）学修成果の評価

学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプラン、アセスメントプラン・チェックリストに基づき実施する。

食物栄養学科

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

食物栄養学科では、所定の単位を修得し、以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士（栄養学）の学位を授与する。

（1）知識・理解

- 1）栄養士として必要な「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」に関する最新の知見を取り入れた専門的知識を理解している。
- 2）栄養士の役割について理解している。
- 3）社会的自立を図るために必要な知識を理解している。

（2）汎用的技能

- 1）栄養士として必要な専門的スキルを修得している。
- 2）対象者一人一人の状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。
- 3）社会的自立を図るために必要なスキルを身に付けている。

（3）態度・志向性

- 1）対象者一人一人の食生活に即した栄養指導を構想することができる。
- 2）自らの食生活を振り返り、自己評価することができる。

（4）総合的な学修経験と創造的思考力

- 1）これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。
- 2）自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

食物栄養学科の教育目的「食と健康に関わる専門的な知識と技能を養い、栄養士として健康的で人間性豊かな生活づくりを指導できる人材を育成することを目的とする」を達成するために、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

（1）学修方法

- 1）実施する授業の形態は、講義、演習、実験、実習のいずれか、又は、これらの併用により行う。
- 2）各授業の実施に当たっては、積極的にアクティブ・ラーニングを取り入れる。
- 3）栄養士として地域の健康づくりに貢献する姿勢を養うため、実践の機会を設けたカリキュラム編成とする。

（2）学修内容

- 1）幅広く深い教養を培い、豊かな人間性を涵養するために教養科目を配置する。
- 2）専門科目は、栄養士免許、栄養教諭二種免許状、フードスペシャリスト受験資格を取得するために必要な科目を取り入れたカリキュラム編成にする。
- 3）大学への適応及び学修スキルの修得等のための初年次教育は、多様な入学生が自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できるよう、少人数制の「セミナーⅠ」「セミナーⅡ」で実施する。

（3）学修成果の評価

学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプラン、アセスメントプラン・チェックリストに基づき実施する。

保育学科

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保育学科では、所定の単位を修得し、以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士（保育学）の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - 1) 保育の本質と目的について理解している。
 - 2) 保育に関する基本的知識を理解している。
 - 3) 社会的自立を図るために必要な知識を理解している。
- (2) 汎用的技能
 - 1) 子ども一人一人の生活や発達過程に応じた援助ができる。
 - 2) 保育に関する汎用的技能を身に付けている。
 - 3) 社会的自立を図るために必要な技能を身に付けている。
- (3) 態度・志向性
 - 1) 子どもの最善の利益を尊重することができる。
 - 2) 正しい価値観・倫理観と判断力を身に付け、自立した大人として市民としての責任を持った行動ができる。
- (4) 総合的な学修経験と創造的思考力
 - 1) これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。
 - 2) 自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保育学科の教育目的「保育・幼児教育に関する専門的知識と技能を養うとともに、社会の多様な保育ニーズに対応できる実力と豊かな人間性を備えた保育者を養成することを目的とする」を達成するために、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

- (1) 学修方法
 - 1) 教養に関する教育科目、専門・職業に関する教育科目を規程に即して設定し、講義、演習、実験、実習、実技指導等、教育目的に適した形式の授業を実施する。
 - 2) 学生が主体的・能動的に学修できるアクティブ・ラーニングの教育環境を準備し、可能な限りこの方法を取り入れる。
 - 3) 学内外での行事やボランティア活動、地域連携活動等、実践を通じた学びの機会をつくる。
- (2) 学修内容
 - 1) 幅広く深い教養を培い、豊かな人間性を涵養するための教養科目を配置する。
 - 2) 教育職員免許法施行規則に定められている教育内容と単位数を充足する科目を設け、幼稚園教諭として必要な最新の知見を取り入れた専門的知識と技能を養うための体系的なカリキュラム編成とする。
 - 3) 児童福祉法施行規則に定められている教育内容と単位数を充足する科目を設け、保育士として必要な知識と技術、及び人間性が身に付けられるような総合的なカリキュラム編成とする。
 - 4) 大学への適応及び学修スキルの修得等のための初年次教育は、少人数制の「セミナーⅠ」「セミナーⅡ」で実施する。
- (3) 学修成果の評価
 - 学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプラン、アセスメントプラン・チェックリストに基づき実施する。

広島文化学園短期大学のアセスメントプラン

広島文化学園短期大学では、ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）の3つのポリシーに基づく教育の実施と、それらの自己点検・評価を通じた改善・改革の取組を、教育の質保証の中核として位置づける。

本アセスメントプランでは、大学全体レベル・学科レベル・科目レベルの3段階で、3つのポリシーの達成状況、学修成果・教育成果に対する測定・評価指標を以下の通り定める。

【各レベルの指標】

		入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
		アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー
大学全体レベル		各種入学試験結果 新入生調査 入学前教育に関する調査	GPA 単位修得状況 適性検査 “学生授業評価アンケート （学修行動調査を含む）” 学生満足度調査 休学率・退学率 アクティブ・ラーニング実施率 ディプロマ・サブプリメント	GPA 単位修得状況 卒業研究 学位授与数・卒業決定率 免許・資格取得率 就職率・進学率 対人援助職への就職率 学生満足度調査 卒業生への振り返りアンケート調査 ディプロマ・サブプリメント 就職先アンケート
学 科 レ ベ ル	学科共通	各種入学試験結果 新入生調査 入学前教育調査	GPA 単位修得状況 適性検査 “学生授業評価アンケート （学修行動調査を含む）” アクティブ・ラーニング実施率 休学率・退学率 学生満足度調査 HBGポータルを活用（記入率） ディプロマ・サブプリメント	GPA 単位修得状況 卒業研究 学位授与数・卒業決定率 免許・資格取得率 就職率・進学率 対人援助職への就職率 学生満足度調査 卒業生への振り返りアンケート調査 ディプロマ・サブプリメント 就職先アンケート 学生への外部からの評価（表彰等）
	コミュニティ 生活学科	入学前課題の取組状況	ボランティアへの参加度 オープンキャンパスでの成果発表 カフェでの成果発表 卒業制作パーティでの成果発表 卒業制作ファッションショーでの 成果発表	指定科目優秀認定証授与
	食物栄養学科	入学前教育の学習取組状況	HBGポータル	専門職比率 栄養士・栄養教諭二種免許状・フー ドスペシャリスト資格取得者数 教員採用試験・登録販売者試験合格 者数 栄養士実力認定試験結果 管理栄養士国家試験合格者数
	保育学科	入学前課題提出状況	ボランティア参加者数 学生ポートフォリオ 絵本の読み・漢字テスト等 HBGポータル	保育士資格取得率 幼稚園教諭（二種）免許取得率 幼児体育指導者（2級）取得者数 赤十字幼児安全法支援員資格取得者 数
科目レベル			成績評価 学生授業評価アンケート	

※上記の各指標は、必要に応じて追加・修正することがある。

学修計画について

卒業後、就職しようと考えている人、4年制大学へ進学しようと考えている人、それぞれの進みたい道や思い描く将来の夢は一人ひとり違います。

卒業後のなりたい自分をイメージし、それを達成するための目標を立て、その目標に近づくために必要な授業科目を学科課程表とシラバス（授業計画）を参考にして体系的に選択し、履修してください。

卒業要件と学位

卒業するためには、次表の条件（在学年数・修得単位数）を満たすことが必要です。卒業要件は学科によって異なるので、注意してください。

学 科 等	在学年数	教 養	専 門		教養・専門合計	学位の名称
			必 修	選 択		
コミュニティ生活学科	2年以上	12単位以上	12単位	38単位以上	62単位以上	短期大学士 (生活総合学)
食物栄養学科			16単位	34単位以上		短期大学士 (栄養学)
保育学科			28単位	22単位以上		短期大学士 (保育学)

単位の認定

評価基準と単位認定の関係は次のとおりです。

評価基準	評価	成績表の表記	単位認定	GP
90～100点	秀	S	認定	4
80～89点	優	A	認定	3
70～79点	良	B	認定	2
60～69点	可	C	認定	1
59点以下	不可	D	不認定	0
未受験（受験資格有り）		T	不認定	—
未受験（受験資格無し）		Z	不認定	—
既修得単位認定	認定	N	認定	—
履修中		R	—	—

- ・各授業科目は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。なお、単位修得に必要な学修には、授業時間外に必要な学修等を含みます。具体的な総授業時間数及び授業時間外学修時間数については、「学生生活の手引き（単位制ってなに?）」及び各科目の「シラバス（学修法）」を確認してください。
- ・授業実施回数数の3分の2以上の出席がなければ期末試験等の受験資格が与えられず、単位は不認定（Z）となります。その授業科目の単位を必要とする場合は、再履修してください。

資格について

短期大学では、卒業と同時に取得できる資格を次のように設けています。

学 科	取得できる資格	備 考
コミュニティ生活学科	中学校教諭二種免許状(家庭) フードコーディネーター3級	同時取得可
食物栄養学科	栄養士免許 栄養教諭二種免許状	同時取得可
保育学科	幼稚園教諭二種免許状 保育士資格 社会福祉主事任用資格	同時取得可

それぞれの資格を取得するためには、卒業資格（短期大学士）を有し、実習を含む必要単位を修得する必要があります。また、資格によっては、必要経費が発生するものがあるほか、単位ではない体験活動などが必要なものもあります。その他、資格取得に関してはいくつかの条件が定められていますので、よく確認してください。

なお、資格取得希望者や資格に関する教育課程履修者を対象に、オリエンテーションや説明会を行いますので、必ず出席してください。

履修について

1. 履修の手続き

履修しようとする授業科目は学生部に登録します。履修登録をしていない授業科目は履修することができません。締切日までに必ず履修登録をしてください。なお、上級学年の科目は原則履修できません。

履修登録は、チューターと相談しながら、次のように行ってください。

- (1) 履修の手引きとシラバス（大学ホームページ参照）を参考にして、2年間の履修計画を立てる。
- (2) 履修計画をもとにHBG Portal（履修登録ページ）で当該学期の履修登録を行う。登録の手順はチューターの指導に従って行う。
- (3) 登録内容の変更、訂正が必要な場合は、履修登録変更締切日までにHBG Portal（履修登録ページ）で変更、訂正する。
- (4) 履修登録内容は必ず印刷し、保管する。

2. 履修制限（CAP制）について

1年間に履修できる単位数の上限は、48単位です。但し、次の場合は、上限を超えて履修することができます。

- セミナーⅠ・Ⅱ、卒業研究、集中講義、学外実習科目の場合
- 直前の学期におけるGPAが3.00以上の場合
- その他許可を得た場合

3. 授業の不開講について

非常勤講師担当科目の場合、履修者数が6名に達しなかった科目は不開講になります（卒業・資格必修科目は除く）。

4. シラバス

シラバスには、次の項目について記載しています。

1. 科目名
2. 開講期
3. 開講キャンパス
4. 担当教員名
5. 開講学年
6. 単位数
7. 修得区分（必修・選択等）
8. 開講形式
9. 授業の目的（ねらい）
10. 最終到達目標
11. 評価方法
12. 授業計画（授業のテーマ、講義内容、授業目標、教材）
13. 学修法（予習・復習等）
14. 教科書・参考図書等
15. その他（履修の要件等）
16. 学修成果との関連

※1～2・4～8・16については、履修の手引き「学科課程表（カリキュラム表）」「カリキュラムマップ」も確認してください。

5. 他学科の授業科目の履修

他学科で開講されている科目を履修し単位を修得することもできます。履修を希望する人は下記の手続きを経て、履修を行ってください。

- (1) 広島文化学園短期大学の他学科授業科目の場合は、「時間割外科目履修届」を提出する。
- (2) 広島文化学園大学の授業科目の場合は、「二大学単位互換履修願」を提出する。

※用紙は学生部にあります。必要事項を記入のうえ、授業担当教員・チューターの印を受け、締切日までに学生部に提出してください。

届・願名	開講対象	WEB登録	願・届	決定通知
時間割外科目履修届	同学科 下級学年	必要	不要	無
	他学科	不可	必要	
二大学単位互換履修願	広島文化学園大学	不可	必要	有

GPA (Grade Point Average)

(1) GPA制度の活用

GPAによって、自分自身がこれまでどの程度の成績を修めたか、客観的で総合的に判断することができます。よりよい成績が修められるように努力する指標になります。またGPAの得点が低い学生には、適切な学習のサポートができるよう、チューターが指導します。

(2) GPAの計算方法

次の計算式により、単位当たりの成績評価平均値（以下、GPAという。）を算出し、成績表に記載します。数値は満点を4.00として表示されます。

なお、受験資格有り但未受験（T）、受験資格無し但未受験（Z）、及び他大学で修得した科目で単位認定したものはGPAの対象外となります。

$$\frac{\text{秀 (S) の単位数} \times 4 + \text{優 (A) の単位数} \times 3 + \text{良 (B) の単位数} \times 2 + \text{可 (C) の単位数} \times 1}{\text{成績評価を受けた科目の総単位数}}$$

学業成績不振学生への対応

学業成績不振学生は、チューターの指導により学業改善計画書を作成し、学生部に提出しなければなりません。状況によっては保護者同伴で指導することがあります。

学業不振学生とは、次の表に示した基準を下回る（未満の）者とします。

また、2年後期末のGPAを、卒業判定の基準としても用います。

		1年前期末	1年後期末	2年前期末	2年後期末
コミュニティ生活学科	修得単位	10	20	40	62
	GPA	1.40	1.40	1.40	1.40
食物栄養学科	修得単位	15	30	45	62
	GPA	1.40	1.40	1.40	1.40
保育学科	修得単位	18	36	54	62
	GPA	1.40	1.40	1.40	1.40

広島文化学園短期大学の教養教育の理念・目的

広島文化学園短期大学における教養教育は、社会に貢献する人材を育成するために専門教育及び職業教育と車の両輪をなすものであり、建学の精神「究理実践」に基づき、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを目的としている。

そのため、豊かな人間性に関する「生活と文化」、総合的な判断力に関する「数理・情報」、対話に基づく自己実現及び社会参画・社会貢献に関する「コミュニケーション」の3つの区分を置き、各区分に学科の専門教育科目及び職業教育科目との相乗効果が期待できる科目を配置する。

広島文化学園短期大学におけるリベラルアーツについて

本学では、教養人として事物に束縛されず自由に物事を深く考究する基盤となる資質・能力を養うために、実践的で具体的な情報を扱うスキル、理論的な知識を扱うスキル、転移可能な多角的・汎用的スキルで構成されるリベラルアーツ教育を推進します。

複雑化し、相互に関連し合う知識社会において、本学リベラルアーツ教育は、実践的スキル（実践的で具体的な情報を扱うスキル）、知的スキル（理論的な知識を扱うスキル）、ソフトスキル（転移可能な多角的・汎用的スキル）で構成され、批判的思考と問題解決の力を養う。

短期大学の副専攻プログラムについて

短期大学では、専攻する学科の専門領域以外の特定の分野の科目を体系的に配置した「副専攻プログラム」を設置しています。単に他学科の科目を履修するだけでなく、高度な専門的知識を深めることができます。この制度を利用して一定の単位を修得すれば、卒業時に副専攻プログラムの修了証書が授与されます。

1. 「パソコンスキルプログラム」

1年次		2年次	
<u>ワープロ検定講座Ⅰ</u>	1単位	<u>パソコン活用演習</u>	2単位
<u>ワープロ検定講座Ⅱ</u>	1単位	<u>Web活用演習</u>	1単位
<u>表計算検定講座Ⅰ</u>	1単位		
<u>表計算検定講座Ⅱ</u>	1単位		

() : 数字は単位数
下線 : 必修科目

合計 単位 : 必修6科目 (7単位) をすべて履修してください。

2. 「フードビジネスプログラム」

1年次		2年次	
<u>フード商品企画</u>	1単位	<u>フードサービス論</u>	2単位
<u>テーブルコーディネート論</u>	2単位	<u>カフェプランニング</u>	1単位
		<u>フードスタイリング演習</u>	1単位

() : 数字は単位数
下線 : 必修科目

合計 単位 : 必修5科目 (7単位) をすべて履修してください。

3. 副専攻プログラム履修の注意点

このプログラムは1年生前期から受講が可能です。副専攻プログラムは、食物栄養学科・保育学科に在籍する学生を対象としています。コミュニティ生活学科の授業科目の一部が副専攻プログラム開講科目として位置づけられています。

- (1) 他学科履修として15単位を超えない範囲で履修できます。CAP制の対象外となります。
- (2) 上級学年の科目は履修できません。
- (3) すべての科目について「時間割外科目履修届」を学生部に提出してください。
- (4) 「時間割外科目履修届」の作成時には、担当教員の押印を必ず受けてください。

学科課程表

コミュニティ生活学科（令和8年度入学生）

(R8)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				中学校教諭一種	フードコーディネーター		
				前	後	前	後						
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ(トレーニング)	1	2					○	◎	集中講義 前期・後期開講	12単位以上	
		スポーツ(競技)	1		2				○	◎			
		日本国憲法	2				2		○	◎			
		日本文化入門	2			2			○				
		ひろしま学	2			2			○				
		日本語と現代社会	2	2					○				
		S D G s	2	2					○				
	数理・情報	リアルな数学	古川博仁	2	2	2				○			
		情報リテラシー	古川博仁 塩見雅昭	2	2				○	◎			
		コンピュータ活用演習	古川博仁	1		2				○			
	コミュニケーション	日本語コミュニケーション	久保浩志	2		2				○			
		英語会話	毛利カリーナ	2	2					○			◎
		中国語入門	劉鳴	2			2			○			
		韓国語入門	李賛任	2		2				○			
		手話入門	宇佐川弘子	2		2				○			
		ミュージックアンソングル(ベーシック)	折田吉弘	1	2					○			
		ミュージックアンソングル(アドバンス)	折田吉弘	1		2				○			
海外語学演習	廣澤美花	1			2			○					
専門に関する教育科目	研究	セミナーⅠ	(注1)	1	2				○		必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上		
		セミナーⅡ	(注1)	1		2			○				
		卒業研究	(注1)	2			2	2	○				
	人とかかわる	社会心理学	廣兼孝信	2	2					○			
		人間関係論	廣兼孝信	2		2				○			
		コミュニティ論	相田美穂	2			2			○			
		ボランティアⅠ	廣兼孝信	1		2				○			
		ボランティアⅡ	廣兼孝信	1			2			○			
	生活を知る	生活学Ⅰ	海切弘子 廣澤美花 佐々本恵万 井堰絵里佳	2	2					○			
		生活学Ⅱ	海切弘子 高橋佑子 佐々本恵万 井堰絵里佳	2		2				○			
		生活と環境	矢野孝江	2		2				○			
		保育学	今井裕子	2			2			○		◎	
		住居学	井堰絵里佳	2				2		○		◎	
		生活経営	田谷真由美	2			2			○		◎	
生活経済学		田谷真由美	2				2		○	◎			
実習を含む											家族関係学と家庭経営学を含む 家庭経済学を含む		
実習を含む													
実習を含む													
実習を含む													
実習を含む													
実習を含む													
実習を含む													

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				中学校教諭一種	フードコーディネーター		
				前	後	前	後						
ライフデザインフィールド	生活を創る	色彩学	高橋佑子	2	2				○				
		織物	南容子	1		2			○				
		陶芸	藤川稔	1			2		○				
		フォトクリエイトⅠ	近藤聖子	1	2				○				
		フォトクリエイトⅡ	福角智江	1		2			○				
		インテリア論	井堰絵里佳	2	2				○				
		インテリアデザイン	井堰絵里佳	1		2			○				
		デザイン論	井堰絵里佳	2		2			○				
		ディスプレイデザイン	井堰絵里佳	1			2		○				
専門に関する教育科目	ファッションデザイン	ファッション文化論	高橋佑子	2			2		○	○		必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		ファッションデザイン論	戸谷多加	2	2				○				
	ファッション製作	被服学	佐々本恵万	2	2				○	◎			
		被服製作実習Ⅰ	佐々本恵万	1	2				○	◎			
		被服製作実習Ⅱ	佐々本恵万	1		2			○				
		ファッションクリエイトⅠ	今井裕子	1			2		○				
		ファッションクリエイトⅡ	今井裕子	1				2	○				
	ファッションビジネス	ファッションビジネス論	戸谷多加	2	2				○				
		ファッションビジネス演習	戸谷多加	1		2			○				
		アパレル商品知識	佐々本恵万	2	2				○				
	ファッションスタイリング	パーソナルカラー論	高橋佑子	2		2			○				
		パーソナルカラー演習	高橋佑子	1			2		○				
		パーソナルスタイリング	高橋佑子	1				2	○				
	メイクアップ	メイクテクノロジー	札幌由麻	1	2				○				
		メイクアップ演習Ⅰ	札幌由麻	1		2			○				
		メイクアップ演習Ⅱ	札幌由麻	1			2		○				
		メイクアップ演習Ⅲ	札幌由麻	1			2		○				
		美容総論	札幌由麻	2				2	○				
	ネイルケア	ネイルテクノロジー	藤法恵子	1		2			○				
		ネイリスト演習	藤法恵子	1			2		○				
		ネイリスト研修	藤法恵子	1				2	○				
フードフィールド	フードコーディネート	フードコーディネート論	向島佳織	2	2				○	◎	栄養学、食品学を含む		
		食物学	福田明子	2			2		○	◎◎			
		食品衛生学	海切弘子	2		2			○	◎			
		食文化論	向島佳織	2				2	○	◎			
		ライフステージの食事	向島佳織	1			2		○	◎			

(R8)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				中学校教諭一種	フードコーディネーター			
				前	後	前	後							
専門に関する教育科目	料理	調理学	2	2					○	○	◎	オムニバス	必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		調理学実習	1		2				○	◎	◎			
		調理学演習	1		2				○		◎			
		料理実習Ⅰ	1				2		○					
		料理実習Ⅱ	1				2		○					
	製菓	製菓論	高野恭秀	2		2				○				
		製菓演習	高野恭秀	1		2				○				
		洋菓子実習	高野恭秀	1			2			○				
		製パン実習	高野恭秀	1			2			○				
	フードワールド ブライダルプランニング	ブライダル総論	廣澤美花	2	2					○				
		ブライダルサービス演習	廣澤美花	1		2				○				
		ブライダルプランニング	廣澤美花	2			2			○				
		ブライダルコーディネート演習	廣澤美花	1				2		○				
		ブライダル検定講座	今井裕子	1		2				○				
		ホテルサービス論	磯部英昭	2		2				○				
		ホテルサービス演習	磯部英昭	1			2			○				
	フードビジネス	フード商品企画	向島佳織	1		2				○				
		テーブルコーディネート論	佐々木晴美	2		2				○	◎			
		フードサービス論	入江崇文	2			2			○	◎			
		カフェプランニング	海切弘子 向島佳織	1			2			○	◎			
		フードスタイリング演習	佐々木晴美	1			2			○	◎			
		イベントプランニング	海切弘子 廣澤美花 向島佳織	1				2		○	◎			
		フードクリエイト	向島佳織	1				2		○				
	キャリアサポートワールド	パソコンスキル	ワープロ検定講座Ⅰ	廣兼孝信	1	2					○			
			ワープロ検定講座Ⅱ	廣兼孝信	1		2				○			
			表計算検定講座Ⅰ	今實信之	1	2					○			
			表計算検定講座Ⅱ	今實信之	1		2				○			
			パソコン活用演習	井堰絵里佳	2			2			○			
Web活用演習			井堰絵里佳	1			2			○				
Webデザイン演習			井堰絵里佳	1				2		○				
ビジネススキル		キャリアデザイン	廣澤美花	2		2				○				
		簿記会計	塩見雅昭	2		2				○				
		ビジネス検定講座	岩本健二	2		2				○				
		色彩検定講座	高橋佑子	1		2				○				
		接遇検定講座	樽本幸美	1			2			○				
ビジネス英語	川端真規子	2			2			○						

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				中学校教諭二種	ブロードコーパイネーター		
				前	後	前	後						
キャリアサポートフィールド 専門に関する教育科目	医療事務	医療事務Ⅰ	2	2					○		集中講義 研修、服務および身分保障等を含む 教育課程の意義及び編成の方法を含む 情報機器及び教材の活用を含む 進路指導を含む カウンセリングを含む 事前事後指導 1 単位含む	必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		医療事務Ⅱ	4	4					○				
	就職サポート	就職対策講座Ⅰ	1		2				○				
		就職対策講座Ⅱ	1			2			○				
	教職※	教職概論	田島美帆	2	2					○			◎
		教育原理	田島美帆	2		2				○			◎
		教育心理学	花本美代	2		2				○			◎
		教育制度	松元健治	2				2		○			◎
		特別支援教育	三村千秋	2			2			○			◎
		家庭科教育法	西敦子	2		2				○			◎
		道徳教育論	古賀直樹	1		1				○			◎
		総合的な学習の時間の指導法	清見嘉文	2				2		○			◎
		特別活動論	山田重則	1		1				○			◎
		教育方法論(ICTを含む)	海切弘子	2	2					○			◎
		生徒指導論	山田重則	2			2			○			◎
教育相談	澤田良子	2				2		○	◎				
教育実習	佐々本恵万	5			9			○	◎				
教職実践演習(中学校教諭家庭)	佐々本恵万	2				2		○	◎				

【「免許・資格」欄：◎免許・資格必修科目／○免許・資格選択科目（中学校教諭二種は4単位以上修得）】

※教職ユニットからは10単位まで卒業単位に含めることができる

(注1) 高橋佑子、海切弘子、廣兼孝信、向島佳織、廣澤美花、井堰絵里佳、佐々本恵万

卒業に必要な単位

62単位以上

コミュニティ生活学科の学修成果

学修成果とは、卒業までに皆さんに身に付けてほしいことです。

学科ごとに、最終的な学修到達目標とその具体的な下位項目を設定しています。

カリキュラムマップは、科目ごとに、学修到達目標を示しています。

シラバス（授業計画）には、この科目を履修し、単位を修得すれば、どのような学修成果が得られるのかを学修到達目標の番号で示しています。

	学修到達目標	下位項目	
コミュニティ生活学科	知識・理解	①生活に関する知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる基本的な知識を身に付けている。 ・家庭生活の基本的な知識を身に付けている。 ・豊かな生活を創造する基本的な知識を身に付けている。
		②衣生活、食生活、人間関係に関する基本的知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活に関する基本的な知識を身に付けている。 ・食生活に関する基本的な知識を身に付けている。 ・人間関係に関する基本的な知識を身に付けている。
		③ファッション分野・フード分野の専門的知識を身に付けている。	ファッション分野 <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン・文化の基本的な知識を身に付けている。 ・ファッションスタイリングの基本的な知識を身に付けている。 ・アパレル製作の基本的な知識を身に付けている。 ・ファッションビジネスの基本的な知識を身に付けている。 フード分野 <ul style="list-style-type: none"> ・フードの基本的な知識を身に付けている。 ・料理・製菓の基本的な知識を身に付けている。 ・フードサービス・フードビジネスの基本的な知識を身に付けている。 ・フードコーディネートの基本的な知識を身に付けている。 ・ブライダルコーディネートの基本的な知識を身に付けている。
		④社会的及び職業的自立を図るために必要な知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要な知識を身に付けている。 ・職業的自立を図るために必要な知識を身に付けている。
	汎用的技能	①生活に関する技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる基本的な技能を身に付けている。 ・家庭生活の基本的な技能を身に付けている。 ・豊かな生活を創造する基本的な技能を身に付けている。
		②衣生活、食生活、人間関係に関する基本的技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を主体的に構築できる。 ・食生活を主体的に構築できる。 ・他者との円満な関係を築くことができる。
		③ファッション分野・フード分野の専門的技能を身に付けている。	ファッション分野 <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン・文化の基本的な技能を身に付けている。 ・ファッションスタイリングの基本的な技能を身に付けている。 ・アパレル製作の基本的な技能を身に付けている。 ・ファッションビジネスの基本的な技能を身に付けている。 フード分野 <ul style="list-style-type: none"> ・フードの基本的な技能を身に付けている。 ・料理・製菓の基本的な技能を身に付けている。 ・フードサービス・フードビジネスの基本的な技能を身に付けている。 ・フードコーディネートの基本的な技能を身に付けている。 ・ブライダルコーディネートの基本的な技能を身に付けている。
		④社会的及び職業的自立を図るために必要な汎用的技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要な技能を身に付けている。 ・職業的自立を図るために必要な技能を身に付けている。
	態度・志向性	①個性豊かな生活づくりをする姿勢を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性を生かした生活をする姿勢を身に付けている。 ・実践的な学習を通して生活に関する課題を見つける姿勢を身に付けている。
		②地域社会の文化形成に貢献する姿勢を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学修成果を生かして地域社会に貢献する姿勢を身に付けている。 ・実践的な学習を通して地域社会における課題を見つける姿勢を身に付けている。
	総合的な学修経験と創造的思考力	①これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学修を活用し、研究や制作を行う力を身に付けている。 ・研究や制作を通して、理論的・創造的な思考力を身に付けている。
		②自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・研究や制作を通して、課題の解決に取り組む姿勢を身に付けている。 ・研究や制作を通して、新しい課題を見つける姿勢を身に付けている。

カリキュラムマップ

コミュニティ生活学科（令和8年度入学生）

	授業科目名	授業形態	学 修 到 達 目 標															
			知識・理解				汎用的技能				態度・志向性		総合的な学修経験と創造的思考力					
			①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	①	②				
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ（トレーニング）	演習				○											
		スポーツ（競技）	演習				○											
		日本国憲法	講義				○											
		日本文化入門	講義				○											
		ひろしま学	講義				○											
		日本語と現代社会	講義				○											
	数理・情報	リアルな数学	講義				○											
		情報リテラシー	演習				○											
	コミュニケーション	コンピュータ活用演習	演習				○											
		日本語コミュニケーション	講義				○											
		英語会話	講義				○											
		中国語入門	講義				○											
		韓国語入門	講義				○											
		手話入門	講義				○											
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	演習				○											
		ミュージックアンサンブル(アドバンス)	演習				○											
	研究	海外語学演習	演習				○											
		セミナーⅠ	演習										○	○				
セミナーⅡ		演習										○	○					
専門に関する教育科目	人とかかわる	卒業研究	演習												○	○		
		社会心理学	講義	○	○			○	○									
		人間関係論	講義	○	○			○	○									
		コミュニティ論	講義	○				○										
	生活を知る	ボランティアⅠ	演習	○				○										
		ボランティアⅡ	演習	○				○										
		生活学Ⅰ	講義	○	○			○	○									
		生活学Ⅱ	講義	○	○			○	○									
		生活と環境	講義	○				○										
		保育学	講義	○				○										
		住居学	講義	○				○										
		生活経営	講義	○				○										
	生活を創る	生活経済学	講義	○				○										
		色彩学	講義	○				○										
		織物	演習	○				○										
		陶芸	演習	○				○										
		フォトクリエイトⅠ	演習	○				○										
		フォトクリエイトⅡ	演習	○				○										
		インテリア論	講義	○				○										
		インテリアデザイン	演習	○				○										
	ファッションデザイン	デザイン論	講義	○				○										
		ディスプレイデザイン	演習	○				○										
		ファッション文化論	講義			○												
		ファッションデザイン論	講義			○												
被服学		講義			○													
被服製作実習Ⅰ		実習			○													
被服製作実習Ⅱ		実習			○													
ファッションクリエイトⅠ		演習			○													
ファッションクリエイトⅡ		演習			○													
ファッションビジネス		ファッションビジネス論	講義			○												
		ファッションビジネス演習	演習			○												
ファッションスタイリング		アパレル商品知識	講義			○	○											
	パーソナルカラー論	講義			○													
	パーソナルカラー演習	演習			○													
	パーソナルスタイリング	演習			○													
メイクアップ	メイクテクノロジー	演習			○													
	メイクアップ演習Ⅰ	演習			○													
	メイクアップ演習Ⅱ	演習			○													
	メイクアップ演習Ⅲ	演習			○													
	美容総論	講義			○													
ネイルケア	ネイルテクノロジー	演習			○													
	ネイリスト演習	演習			○													
	ネイリスト研修	演習			○	○												

			学 修 到 達 目 標																	
			授業科目名	授業形態	知識・理解				汎用的技能				態度・志向性		総合的な学修経験と創造的思考力					
					①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	①	②				
専門に関する教育科目	フードフィールド	フード基礎	フードコーディネート論	講義			○													
			食物学	講義			○													
			食品衛生学	講義			○													
			食文化論	講義			○													
			ライフステージの食事	演習			○													
		料理	調理学	講義			○													
			調理学実習	実習			○													
			調理学演習	演習			○													
			料理実習Ⅰ	実習			○													
			料理実習Ⅱ	実習			○													
			製菓	製菓論	講義			○												
		製菓演習		演習			○													
		洋菓子実習		実習			○													
		製パン実習		実習			○													
		ブライダルプランニング		ブライダル総論	講義			○												
	ブライダルサービス演習			演習			○													
	ブライダルプランニング			講義			○													
	ブライダルコーディネート演習		演習			○	○						○							
	ブライダル検定講座		演習			○							○							
	ホテルサービス論		講義			○							○							
	フードビジネス	ホテルサービス演習	演習			○	○					○	○							
		フード商品企画	演習			○							○							
		テーブルコーディネート論	講義			○							○							
		フードサービス論	講義			○							○							
		カフェプランニング	演習			○							○							
		フードスタイリング演習	演習			○							○							
		イベントプランニング	演習			○							○							
	パソコンスキル	フードクリエイティブ	演習			○						○								
		ワープロ検定講座Ⅰ	演習				○						○							
		ワープロ検定講座Ⅱ	演習				○						○							
		表計算検定講座Ⅰ	演習				○						○							
		表計算検定講座Ⅱ	演習				○						○							
		パソコン活用演習	演習				○						○							
		Web活用演習	演習				○						○							
		Webデザイン演習	演習				○						○							
	ビジネススキル	キャリアデザイン	講義			○							○							
		簿記会計	講義			○							○							
		ビジネス検定講座	講義			○							○							
		色彩検定講座	演習			○							○							
		接遇検定講座	演習			○							○							
		ビジネス英語	講義			○							○							
	医療事務	医療事務Ⅰ	講義			○							○							
		医療事務Ⅱ	講義			○							○							
	就職サポート	就職対策講座Ⅰ	演習			○							○							
		就職対策講座Ⅱ	演習			○							○							
教職	教職概論	講義				○							○							
	教育原理	講義				○							○							
	教育心理学	講義				○							○							
	教育制度	講義				○							○							
	特別支援教育	講義				○							○							
	家庭科教育法	講義				○							○							
	道徳教育論	講義				○							○							
	総合的な学習の時間の指導法	講義				○							○							
	特別活動論	講義				○							○							
	教育方法論 (ICTを含む)	講義				○							○							
	生徒指導論	講義				○							○							
	教育相談	講義				○							○							
	教育実習	実習				○							○							
	教職実践演習 (中学校教諭家庭)	演習				○							○							

学科課程表

食物栄養学科（令和8年度入学生）

(R8)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格			備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				栄養士	栄養教諭二種	フードスペシャリスト		
				前	後	前	後							
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ(トレーニング)	鄭勳九	1	2				○		◎		集中講義	12単位以上
		スポーツ(競技)	鄭勳九	1		2			○		◎			
		日本国憲法	林田正彦	2			2		○		◎			
		社会心理学	廣兼孝信	2	2				○					
		食とアート	森末里子	2			2		○					
		SDGs	岡田正浩	2	2				○					
	数理・情報	リアルな数学	古川博仁	2	2				○					
		情報リテラシー	葉名雅之	2	2				○		◎			
		コンピュータ活用演習	葉名雅之	1		2			○					
		基礎化学	坂本宏司	2	2				○					
		基礎生物学	岡田正浩	2	2				○					
	コミュニケーション	日本語コミュニケーション	野々村憲	2		2			○					
		英語会話	毛利カリーナ	2			2		○		◎			
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	折田吉弘	1	2				○					
		ミュージックアンサンブル(アドバンス)	折田吉弘	1		2			○					
		海外語学演習	廣澤美花	1			2		○					
専門に関する教育科目	社会生活と健康	セミナーⅠ	(注1)	1	2				○			集中講義	必修16単位・選択34単位以上、合計50単位以上	
		セミナーⅡ	(注1)	1		2			○					
		卒業研究	(注1)	2			2	2	○					
	人体の構造と機能	人間関係論	廣兼孝信	2		2			○					
		公衆衛生学	波多江崇	2			2		○	◎	◎			
		社会福祉概論	野原ひでの	2				2	○	◎	◎			
		解剖生理学Ⅰ	平野文男	2	2				○		◎◎			
		解剖生理学Ⅱ	岡田正浩	2		2			○	◎	◎			
		解剖生理学実習	岡田正浩	1			3		○	◎	◎			
		入門生化学	岡崎尚	2		2			○	◎	◎			
	食品と衛生	生化学	岡崎尚	2			2		○	◎	◎			
		生化学実験	岡田正浩	1				3	○	◎	◎			
		食品学Ⅰ	萱島隆之	2	2				○		◎◎◎			
		食品学Ⅱ	萱島隆之	2		2			○	◎	◎◎			
		食品学実験	萱島隆之	1	3				○	◎	◎◎◎			
		食品衛生学	萱島隆之	2		2			○	◎	◎◎◎			
	栄養と健康	食品衛生学実験	萱島隆之	1			3		○	◎	◎◎◎			
		基礎栄養学	山内有信	2	2				○	◎	◎◎◎			
		ライフステージの栄養学	石尾はつみ	2		2			○		◎◎			
ライフステージの栄養学実習		江坂美佐子	1			3		○	◎	◎				
臨床栄養学総論		伊藤由美子	2			2		○	◎	◎				
臨床栄養学各論		小柳賀寿恵	2				2	○	◎	◎				
臨床栄養学実習		小柳賀寿恵	1				3	○	◎	◎				
スポーツ栄養学	石尾はつみ	2				2	○							

(R8)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格			備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				栄養士	栄養教諭二種	フードスペシャリスト			
				前	後	前	後								
専門に関する教育科目	栄養の指導	栄養指導総論	江坂美佐子	2	2				○		◎	◎		必修16単位・選択34単位以上、合計50単位以上	
		栄養指導各論	江坂美佐子	2		2				○	◎	◎			
		栄養指導各論実習Ⅰ	井上小雪	1			3				○	◎	◎		
		栄養指導各論実習Ⅱ	江坂美佐子	1				3			○	◎	◎		
		公衆栄養学	加島浩子	2				2			○	◎	◎		
	給食の運営	調理学	村田美穂子	2	2					○		◎	◎		◎
		調理科学実験	村田美穂子	1		3					○	◎	◎		◎
		調理実習(初級)	村田美穂子	1	3						○	◎	◎		◎
		調理実習(中級)	岡田理恵	1		3					○	◎	◎		◎
		調理実習(上級)	岡田理恵	1			3				○	◎	◎		
		製菓・製パン実習	山本義春	1				3			○				
		給食計画・実務論	石尾はつみ	2	2						○	◎	◎		
		給食計画・実務論演習	石尾はつみ	2	2						○	◎	◎		
	演習	給食計画・実務論実習	石尾はつみ	1		3					○	◎	◎		
		栄養演習Ⅰ	江坂美佐子 石尾はつみ	2			2				○				校外実習対応
	臨地実習	栄養演習Ⅱ	江坂美佐子(注2)	2				2			○				栄養士実力認定試験・フードスペシャリスト対応
		給食実務校外実習	江坂美佐子 石尾はつみ	1			1				○	◎	◎		校外実習
		老人ホーム実習	江坂美佐子	1			1				○				校外実習
	フード	病院実習	石尾はつみ	1			1				○				校外実習
		フードスペシャリスト論	萱島隆之	2			2				○		◎		
		フードコーディネーター論	森末里子	2				2			○		◎		
	開講せず	食品流通論	萱島隆之	2				2			○		◎		
		ヘルスリテラシー		2		2					○				
		ウエルネス美容演習		2			2				○				
		ボディメイク演習		2				2			○				
		医薬品総論	磨清香	2	2						○				登録販売者対応
医薬品各論		磨清香	2		2					○			登録販売者対応・集中講義		
栄養教諭※		教職概論	田島美帆	2	2								◎		
	教育原理	田島美帆	2		2							◎			
	教育心理学	花本美代	2		2							◎			
	教育制度	松元健治	2			2						◎			
	特別支援教育	三村千秋	2			2						◎			
	道徳教育論	古賀直樹	1		1							◎			
	総合的な学習の時間の指導法	清見嘉文	2				2					◎			
	特別活動論	山田重則	1		1							◎			
	教育方法論	村田美穂子	2	2								◎			
	生徒指導論	山田重則	2			2						◎			
	教育相談	澤田良子	2				2					◎			
	学校栄養教育論	村田美穂子 高網隆子	2		2							◎			
	栄養教育実習	村田美穂子	2			*	*					◎	事前事後指導1単位を含む		
	教職実践演習(栄養教諭)	村田美穂子 高網隆子	2				2					◎			

【「免許・資格」欄：◎免許・資格必修科目(栄養教諭二種)】

※栄養教諭二種は栄養士免許を基礎資格とする

(注1) 村田美穂子、萱島隆之、岡田正浩、江坂美佐子、石尾はつみ

(注2) 村田美穂子、萱島隆之、岡田正浩、石尾はつみ

卒業に必要な単位

62単位以上

食物栄養学科の学修成果

学修成果とは、卒業までに皆さんに身に付けてほしいことです。

学科ごとに、最終的な学修到達目標とその具体的な下位項目を設定しています。

カリキュラムマップは、科目ごとに、学修到達目標を示しています。

シラバス（授業計画）には、この科目を履修し、単位を修得すれば、どのような学修成果が得られるのかを学修到達目標の番号で示しています。

	学修到達目標	下位項目	
食物栄養学科	知識・理解	①栄養士として必要な「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」に関する最新の知見を取り入れた専門的知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境と健康との関係を理解している。 ・保健、医療、福祉、介護システムの概要を理解している。 ・人体の仕組みについて、構造や機能を理解している。 ・食事、運動、休養などの基本的な生活活動や環境変化に対する人体の適応について理解している。 ・食品の各種成分の栄養特性について理解している。 ・食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法について理解している。 ・栄養とは何か、その意義と栄養素の代謝及び生理的意義を理解している。 ・性、年齢、生活・健康状態等における特徴を理解している。 ・各種疾患における基本的な食事療法について理解している。 ・個人、集団及び地域レベルでの栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について理解している。 ・基本的な栄養指導の方法について理解している。 ・給食業務を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サービス提供に関する知識を理解している。
		②栄養士の役割について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾患に対する食事療法や栄養指導を理解している。 ・性、年齢、生活・健康状態等に応じた栄養指導を理解している。 ・給食施設で栄養士が行う給食管理や栄養指導を理解している。
		③社会的自立を図るために必要な知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要な知識を理解している。
	汎用的技能	①栄養士として必要な専門的スキルを修得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、運動、休養などの基本的な生活活動や環境変化に対する人体の適応について修得している。 ・食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法について修得している。 ・性、年齢、生活・健康状態等における栄養生理的特徴及び各種疾患における基本的な食事療法について修得している。 ・基本的な栄養指導の方法について修得している。 ・給食業務を行うために必要な調理の技術を修得している。 ・食事計画など給食サービス提供に関する技術を修得している。
		②対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾患に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 ・対象者の性、年齢、生活・健康状態等に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。
		③社会的自立を図るために必要なスキルを身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要なスキルを身に付けている。
	態度・志向性	①対象者一人ひとりの食生活に即した栄養指導を構想することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾患に応じた栄養指導を構想することができる。 ・対象者の性、年齢、生活・健康状態等に応じた栄養指導を構想することができる。
		②自らの食生活を振り返り、自己評価することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの食生活を振り返り、正しく認識することができる。 ・修得した知識を基に自らの食生活を評価することができる。
	総合的な学修経験と創造的思考力	①これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに獲得した栄養士として必要な知識を総合的に活用できる。 ・これまでに獲得した専門的スキルを総合的に活用できる。 ・これまでに獲得した栄養士として必要な態度等を総合的に活用できる。
		②自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題点を見つけ、課題を立てることができる。 ・課題解決に積極的に取り組むことができる。

カリキュラムマップ

食物栄養学科 (令和8年度入学生)

	授業科目名	授業形態	学修到達目標												
			知識・理解			汎用的技能			態度・志向性		総合的な学修経験と創造的思考力				
			①	②	③	①	②	③	①	②	①	②			
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ (トレーニング)	演習			○			○						
		スポーツ (競技)	演習			○			○						
		日本国憲法	講義			○									
		社会心理学	講義			○				○					
		食とアート	講義			○									
		社会生活とマナー	講義			○									
	数理・情報	SDGs	講義			○									
		リアルな数学	講義			○									
		情報リテラシー	演習			○					○				
		コンピュータ活用演習	演習			○					○				
		基礎化学	講義			○									
		基礎生物学	講義			○									
	コミュニケーション	日本語コミュニケーション	講義			○						○			
		英語会話	講義			○						○			
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	演習			○						○			
ミュージックアンサンブル(アドバンス)		演習			○						○				
海外語学演習		演習			○										
専門に関する教育科目	社会生活と健康	セミナーⅠ	演習									○		○	
		セミナーⅡ	演習									○		○	
		卒業研究	演習									○	○	○	
	人体の構造と機能	人間関係論	講義	○											
		公衆衛生学	講義	○											
		社会福祉概論	講義	○											
		解剖生理学Ⅰ	講義	○											
		解剖生理学Ⅱ	講義	○											
		解剖生理学実習	実験・実習	○				○							
	食品と衛生	入門生化学	講義	○											
		生化学	講義	○											
		生化学実験	実験・実習	○				○							
		食品学Ⅰ	講義	○											
		食品学Ⅱ	講義	○											
		食品学実験	実験・実習	○				○							
	栄養と健康	食品衛生学	講義	○											
		食品衛生学実験	実験・実習	○				○							
		基礎栄養学	講義	○	○										
		ライフステージの栄養学	講義	○	○							○			
		ライフステージの栄養学実習	実験・実習	○	○			○	○			○			
		臨床栄養学総論	講義	○	○							○			
		臨床栄養学各論	講義	○	○							○			
		臨床栄養学実習	実験・実習	○	○			○	○			○			
	栄養の指導	スポーツ栄養学	講義	○	○							○			
		栄養指導総論	講義	○	○							○			
		栄養指導各論	講義	○	○							○			
		栄養指導各論実習Ⅰ	実験・実習	○	○			○	○			○			
	給食の運営	栄養指導各論実習Ⅱ	実験・実習	○	○			○	○			○			
		公衆栄養学	講義	○	○							○			
		調理学	講義	○	○										
調理科学実験		実験・実習	○	○			○								
調理実習 (初級)		実験・実習	○	○			○	○							
調理実習 (中級)		実験・実習	○	○			○	○							
調理実習 (上級)		実験・実習	○	○			○	○							
製菓・製パン実習		実験・実習	○	○			○	○							
給食計画・実務論		講義	○	○											
給食計画・実務論演習		演習	○	○			○	○							
演習	給食計画・実務論実習	実験・実習	○	○			○	○							
	栄養演習Ⅰ	演習	○	○			○	○			○				
実習	栄養演習Ⅱ	演習	○	○			○	○			○				
	給食実務校外実習	実験・実習	○	○			○	○			○		○		
	老人ホーム実習	実験・実習	○	○			○	○			○		○		
	病院実習	実験・実習	○	○			○	○			○		○		
フード	フードスペシャリスト論	講義	○												
	フードコーディネーター論	講義	○												
	食品流通論	講義	○												
	ヘルスリテラシー	演習			○										
	ウェルネス美容演習	演習			○										
	ボディメイク演習	演習			○										
	医薬品総論	講義	○	○											
	医薬品各論	講義	○	○											
	教職に関する教育科目	教職概論	講義			○									
		教育原理	講義			○									
教育心理学		講義			○										
教育制度		講義			○										
特別支援教育		講義			○										
道徳教育論		講義			○										
総合的な学習の時間の指導法		講義			○										
特別活動論		講義			○										
教育方法論		講義		○	○										
生徒指導論		講義			○										
教育相談		講義			○										
学校栄養教育論		講義			○	○									
栄養教育実習		実験・実習			○	○							○		
教職実践演習 (栄養教諭)		演習			○	○								○	

学科課程表

保育学科（令和8年度入学生）

(R8)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				幼稚園教諭一種	保育士			
				前	後	前	後							
教養に関する教育科目	生活と文化	体育理論	新本惣一郎	1	1				○	◎	◎	集中講義 夏季集中講義	12単位以上	
		体育実技	新本惣一郎	1	1	2			○	◎	◎			
		日本国憲法	林田正彦	2			2		○	◎				
		社会心理学	廣兼孝信	2	2				○					
		人間関係論	廣兼孝信	2		2			○					
		社会生活とマナー	樽本幸美	2		2			○					
		SDGs	岡田正治	2	2				○					
	数理・情報	リアルな数学	古川博仁	2	2				○					
		情報リテラシー	葉名雅之	2	2			○		◎				
		コンピュータ活用演習	葉名雅之	1		2			○					
	コミュニケーション	文書デザイン基礎	廣兼孝信	2	2				○					
		日本語コミュニケーション	野々村憲	2			2		○					
		英語会話	毛利カーリーナ	2			2		○	◎	◎			
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	折田吉弘	1	2				○					
	ミュージックアンサンブル(アドバンス)	折田吉弘	1		2			○						
	海外語学演習	廣澤美花	1			2		○						
専門に関する教育科目	保育教育の本質の理解に関する科目	セミナーⅠ	(注1)	1	2				○			通年履修	必修28単位・選択22単位以上、合計50単位以上	
		セミナーⅡ	(注1)	1		2			○					
		卒業研究	(注1)	2			2	2	○					
	教育制度課程	社会福祉	西川勝利	2	2					○	◎			
		子ども家庭福祉	西川勝利	2	2					○	◎			
		保育原理	金子忍	2	2					○	◎			
		教職・保育者論	富田雅子	2	2					○	◎			
		社会的養護Ⅰ	福岡律子	2		2				○	◎			
		教育原理	松元健治	2	2				○	◎	◎			
		教育制度	松元健治	2				2		○	◎			
		特別支援教育	新谷慶子	2				2		○	◎			
		教育の方法・課程	角谷育美	2		2				○	◎			
		保育の計画と評価	角谷育美	2			2			○	◎			
		教育相談	堀川寛	2				2		○	◎			
		保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	花本美代	2	2					○			◎
			子ども家庭支援の心理学	花本美代	2				2		○			◎
			教育心理学	花本美代	2		2			○	◎			○
			子どもの保健	富永説子	2		2				○			◎
			子どもの健康と安全	富永説子	1				2		○			◎
子どもの食と栄養	朝日綾子		2	2					○	◎				
子ども家庭支援論	花本美代		2			2			○	◎				
子どもの理解と援助	堀川寛		1		2				○	◎				
子ども発達支援	太田民恵		2				2		○	◎	○			

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				幼稚園教諭一種	保育士			
				前	後	前	後							
専門に関する教育科目	保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	金子忍	1		2			○		◎	◎	必修28単位・選択22単位以上、合計50単位以上	
		健康領域指導法	矢野下美智子	2			2		○		◎	◎		
		人間関係領域指導法	西川勝利	2				2		○		◎		◎
		環境領域指導法	柘磨昭孝	2			2			○		◎		◎
		言葉領域指導法	野々村憲	2			2			○		◎		◎
		表現領域指導法(音楽)	辻勇介	2				2		○		◎		◎
		表現領域指導法(造形)	清見嘉文	2			2			○		◎		◎
		表現領域指導法(身体表現)	矢野下美智子	2				2		○		◎		◎
		乳児保育Ⅰ	宮岡陽子	2		2				○				◎
		乳児保育Ⅱ	小田ひとみ	1			2			○				◎
		障害児保育	室積幸生	2			2			○				◎
		社会的養護Ⅱ	道下整	1			2			○				◎
		子育て支援	室積幸生	1				2		○				◎
	保育の表現技術	幼児と表現(音楽)	辻勇介	1	2					○		◎		◎
		器楽Ⅰ	(注2)	1	2					○				◎
		器楽Ⅱ	(注2)	1		2				○				◎
		器楽Ⅲ	(注2)	1			2			○				◎
		器楽Ⅳ	(注2)	1				2		○				◎
		幼児と表現(造形)	清見嘉文 金子忍	1		2				○		◎		◎
		幼児と健康Ⅰ	矢野下美智子	1		2				○		◎		◎
		幼児と健康Ⅱ	矢野下美智子	1			2			○		◎		◎
		幼児と言葉	野々村憲	2	2					○		◎		◎
		幼児と環境	柘磨昭孝	2		2				○		◎		◎
	幼児と人間関係	西川勝利	2			2			○		◎	◎		
	幼児英語指導法	毛利カーリーナ	2				2		○					
	教育実習・保育実習	教育実習	富田雅子	5	*	*	*	*		○	◎			事前・事後指導1単位を含む
		保育実習Ⅰ	金子忍 西川勝利	4		*	*			○		◎		
		保育実習指導Ⅰ	金子忍 西川勝利	2		*	*			○		◎		
		保育実習Ⅱ	金子忍	2				6		○		◎		
		保育実習Ⅲ	西川勝利	2			6			○		◎		
		保育実習指導Ⅱ	金子忍	1				2		○		◎		
		保育実習指導Ⅲ	西川勝利	1			2			○		◎		
	総合演習	保育・教職実践演習	奥新恵理	2				2		○	◎	◎		

【「免許・資格」欄：◎免許・資格必修科目／○免許・資格選択科目（保育士は9単位以上修得、但し、「保育実習Ⅱ、保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲ、保育実習指導Ⅲ」のいずれかを含むこと）】

(注1) 柘磨昭孝、清見嘉文、金子忍、西川勝利、富田雅子、花本美代、辻勇介

(注2) 住村順子、古本美和、米澤裕美子、梅田なつみ、原真理子、佐藤有紗、辻勇介

卒業に必要な単位

62単位以上

保育学科の学修成果

学修成果とは、卒業までに皆さんに身に付けてほしいことです。

学科ごとに、最終的な学修到達目標とその具体的な下位項目を設定しています。

カリキュラムマップは、科目ごとに、学修到達目標を示しています。

シラバス（授業計画）には、この科目を履修し、単位を修得すれば、どのような学修成果が得られるのかを学修到達目標の番号で示しています。

		学修到達目標	下位項目
保育学科	知識・理解	①保育の本質と目的について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の歴史、意義、制度、援助内容を理解している。 保育所保育、保育理念について理解している。 教職の意義、教員の役割、職務内容、教育の理念、歴史、思想について理解している。
		②保育に関する基本的知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 教育の思想・制度、歴史、教育課程の意義に関して理解している。 保育の思想・制度、歴史、保育課程の意義に関して理解している。 教育の基礎理論について理解している。
		③社会的自立を図るために必要な知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 社会的及び職業的自立を図るために必要な知識を理解している。
	汎用的技能	①子ども一人一人の生活や発達過程に応じた援助ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 障害について理解し支援の方法や健康への対応を理解している。 養護に関する倫理や実際について理解している。 発達に応じた援助や支援の方法について理解している。 様々な場面での援助や支援の方法について理解している。
		②保育に関する汎用的技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な保育技術を身に付けている。 多様な保育についての対応力を身に付けている。 保育支援についての対応力を身に付けている。
		③社会的自立を図るために必要な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 生活全般に関する知識・技能を活用して社会的及び職業的に自立ができる。
	態度・志向性	①子どもの最善の利益を尊重することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの最善の利益を保証することについて理解している。
		②正しい価値観と判断力を身に付け、自立した大人として市民としての責任を持った行動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 社会人としてのマナーを理解している。 保育者としての責任感を理解している。
	総合的な学修経験と創造的思考力	①これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> 保育計画・指導案の立案ができる。 保育計画・指導案を活かして実践ができる。 観察力・記録の取り方の技術を身に付けている。 保育支援への対応力を活かして実践ができる。
		②自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 保育に必要な課題を立てることができる。 課題の解決に取り組むことができる。

カリキュラムマップ

保育学科（令和8年度入学生）

	授業科目名	授業形態	学修到達目標														
			知識理解			汎用的技能			態度志向性		総合的な学修経験と創造的思考力						
			①	②	③	①	②	③	①	②	①	②					
教養に関する教育科目	生活と文化	体育理論	講義			○											
		体育実技	実技			○											
		日本国憲法	講義			○											
		社会心理学	講義			○											
		人間関係論	講義			○											
		社会生活とマナー	講義			○											
	SDGs	講義			○												
	数理・情報	リアルな数学	講義			○											
		情報リテラシー	演習			○			○		○						
		コンピュータ活用演習	演習			○			○		○						
		文書デザイン基礎	演習			○			○		○						
	コミュニケーション	日本語コミュニケーション	講義			○					○						
		英語会話	演習			○			○		○						
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	演習			○			○		○						
		ミュージックアンサンブル(アドバンス)	演習			○			○		○						
海外語学演習		演習			○												
専門に関する教育科目	保育の目的に関する科目	セミナーⅠ	演習										○				
		セミナーⅡ	演習										○				
		卒業研究	演習			○							○		○		
	教育の本質・目的に関する科目	社会福祉	講義	○	○								○				
		子ども家庭福祉	講義	○	○								○				
		保育原理	講義	○	○								○	○			
		教職・保育者論	講義	○	○								○	○			
		社会的養護Ⅰ	講義	○				○					○				
	教育制度・課程	教育原理	講義	○													
		教育制度	講義		○												
		特別支援教育	講義		○												
		教育の方法・課程	講義		○												
		保育の計画と評価	講義		○										○	○	
	保育の対象の理解に関する科目	教育相談	講義						○	○					○		
		保育の心理学	講義		○												
		子ども家庭支援の心理学	講義		○				○	○				○			
		教育心理学	講義		○												
		子どもの保健	講義		○												
		子どもの健康と安全	演習		○				○								
		子どもの食と栄養	演習		○												
		子ども家庭支援論	講義						○	○				○			
		子どもの理解と援助	演習						○	○				○			
	子ども発達支援	講義						○	○				○				
	保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	演習		○									○		○	
		健康領域指導法	演習							○					○		
人間関係領域指導法		演習							○					○			
環境領域指導法		演習							○					○			
言葉領域指導法		演習							○					○			
表現領域指導法(音楽)		演習							○					○			
表現領域指導法(造形)		演習							○					○			
表現領域指導法(身体表現)		演習							○					○			
乳児保育Ⅰ		演習		○				○	○				○				
乳児保育Ⅱ		演習		○				○	○				○				
障害児保育		演習						○									
社会的養護Ⅱ		演習						○					○				
子育て支援		演習							○						○		
保育の表現技術		幼児と表現(音楽)	演習							○							
	器楽Ⅰ	演習							○								
	器楽Ⅱ	演習							○								
	器楽Ⅲ	演習							○								
	器楽Ⅳ	演習							○								
	幼児と表現(造形)	演習							○								
	幼児と健康Ⅰ	演習							○								
	幼児と健康Ⅱ	演習							○								
	幼児と言葉	演習							○								
	幼児と環境	演習							○								
	幼児と人間関係	演習							○								
	幼児英語指導法	講義							○								
	保育実習・実践演習	教育実習	実習													○	○
保育実習Ⅰ		実習													○	○	
保育実習指導Ⅰ		演習													○	○	
保育実習Ⅱ		実習													○	○	
保育実習Ⅲ		実習													○	○	
保育実習指導Ⅱ		演習													○	○	
保育実習指導Ⅲ		演習													○	○	

広島文化学園短期大学履修規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、広島文化学園短期大学学則（以下「学則」という。）に基づき履修及び単位の認定等について必要な事項を定める。

(配当年次)

第2条 学則第26条及び第27条による授業科目の配当年次については、別表（学科課程表）に定めるとおりとする。

第3条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に履修、修得することを原則とする。

2 上級学年の者は、下級学年に配当されている授業科目を履修することができる。但し、特別な場合を除いて、下級学年の者が上級学年配当の科目を履修することはできない。

(履修登録)

第4条 学生は、履修すべき授業科目について、指定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 履修登録は、履修届を学生部に届け出ることによって行うものとする。

3 登録日以後の登録及びその変更は、原則として認めない。

4 既に単位を修得した授業科目及び授業時間が重複する授業科目は、履修登録をすることができない。

5 履修登録のされていない授業科目については、単位修得を認めない。

6 学生が1年間に登録できる履修単位の上限は、48単位とする。

7 前項の規定にかかわらず、以下に該当するときは、前項の上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

- (1) セミナーⅠ、セミナーⅡ、卒業研究
- (2) 集中講義
- (3) 学外実習
- (4) 直前の学期におけるGPAが3.00以上の者
- (5) その他、科会の承認を得たとき

(授業の不開講)

第5条 資格取得のための必修科目を除く選択科目において、履修登録者数が5名以下の場合には、授業を開講しないことがある。

(単位認定)

第6条 授業実施時間の3分の2以上出席していない授業科目については、原則として単位修得を認めない。

(成績の評価)

第7条 試験等の評価は、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D)をもって表し、秀・優・良・可を合格とし、所定の単位が認定される。不可は不合格とし、単位は認定されない。

2 成績と評価基準は、次の通りとする。

評価基準	評価	成績表の表記	単位認定	GP
90～100点	秀	S	認定	4
80～89点	優	A	認定	3
70～79点	良	B	認定	2
60～69点	可	C	認定	1
59点以下	不可	D	不認定	0
未受験（受験資格有り）		T	不認定	—
未受験（受験資格無し）		Z	不認定	—
既修得単位認定	認定	N	認定	—
履修中		R	—	—

3 前項の成績評価を基に、単位当たりの成績評価平均値(GPA)を、以下の方法で算出する。なお、算出にあたっては、小数点以下第3位を四捨五入することとする。

$$\frac{\text{秀(S)の単位数} \times 4 + \text{優(A)の単位数} \times 3 + \text{良(B)の単位数} \times 2 + \text{可(C)の単位数} \times 1}{\text{成績評価を受けた科目の総単位数}}$$

(追試験)

第8条 病気、就職試験、その他やむを得ない事由のため期末試験に欠席した者は、追試験受験願（様式10）とその事由

を証明する書類（医者の診断書、事故又は延着証明書等）を提出し、認められれば追試験を受けることができる。但し、追試験手数料として500円を納入しなければならない。

（再試験）

第9条 期末試験不合格者は、再試験受験願（様式10）を提出し、認められれば、再試験を受けることができる。再試験で認定された単位の評価は「可」とする。但し、再試験手数料として1,000円を納入しなければならない。

（試験での不正行為）

第10条 試験等において不正行為をした者、もしくは不正行為があったと認められた者に対しては、当該科目を不合格とし、内容によりその後の全試験科目の受験を認めない。

（チューター制）

第11条 学生の履修指導や学修支援等の修学及び学生生活に関し、必要な指導と助言を行うためにチューター制を設ける。

2 チューターは入学時より卒業時まで配置する。

3 チューター制に関し必要な事項は、別に定める。

（ディプロマ・サプリメント）

第12条 教育課程に定められた授業科目の単位を修得した学生に対しては、学修成果に係る客観的資料としてディプロマ・サプリメントを交付することができる。ディプロマ・サプリメントに関し必要な事項は、別に定める。

（その他）

第13条 本規程に定めるものの他、必要な事項については、学長が教授会の意見を聴いたのち、これを定める。

附 則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。なお、広島文化学園短期大学学科課程履修規程は、平成23年3月31日をもって廃止する。
- 2 この規程は、平成26年4月1日から施行する。（一部改正「履修単位の上限」）
- 3 この規程は、平成27年4月1日から施行する。（学校教育法改正に伴う改正）
- 4 この規程は、平成30年4月1日から施行する。（第5条（授業の不開講）の追加）
- 5 この規程は、平成31年4月1日から施行する。（第4条7 1年間の履修登録単位数の上限緩和追加による一部改正）
- 6 この規程は、令和7年9月21日から施行する。（第4条7項（4）GPA及び第7条成績の評価記載内容の一部改正、第11条チューター制の文言の追加、第12条学修履歴証明書に関する文言の追加）
- 7 この規程は、令和8年4月1日から施行する。（第12条の表題の変更）

発 行 広 島 文 化 学 園 短 期 大 学
広 島 市 安 佐 南 区 長 束 西 三 丁 目 5 - 1
〒 7 3 1 - 0 1 3 6 電 話 (0 8 2) 2 3 9 - 5 1 7 1

発 行 日 2 0 2 6 (令 和 8) 年 4 月

印 刷 株 式 会 社 中 本 本 店
広 島 市 中 区 東 白 鳥 町 1 3 - 1 5
〒 7 3 0 - 0 0 0 4 電 話 (0 8 2) 2 2 1 - 9 1 8 1



2025(令和7)年度

履修の手引き

令和7年9月21日 改訂版

コミュニティ生活学科

食物栄養学科

保育学科



広島文化学園短期大学

履修の手引き の改正について

改正日：令和7年9月21日
広島文化学園短期大学

令和7年度後期から、GPA の表記を 0～100 から 0.00～4.00 に変更することとなったため、以下の通り、履修の手引きの一部内容を改正する。

1) GPA について

【新計算方法】

$$\frac{\text{秀(S)の単位数} \times 4 + \text{優(A)の単位数} \times 3 + \text{良(B)の単位数} \times 2 + \text{可(C)の単位数} \times 1}{\text{成績評価を受けた科目の総単位数}}$$

成績評価を受けた科目の総単位数

【旧計算方法】

$$\frac{(\text{秀(S)の単位数} \times 4 + \text{優(A)の単位数} \times 3 + \text{良(B)の単位数} \times 2 + \text{可(C)の単位数} \times 1) \times 2.5}{\text{成績評価 (S・A・B・C・D) を受けた科目の総単位数}}$$

成績評価 (S・A・B・C・D) を受けた科目の総単位数

2) 履修の手引き 改正箇所

該当 ページ	項目	改正前	改正後
4		広島文化学園短期大学のアセスメントプラン (学習成果の評価に関する方針)	広島文化学園短期大学のアセスメントプラン
6	1. 履修の手続き	(2)履修計画をもとに学内LANに接続されているコンピュータ(履修登録ページ)で当該学期の履修登録を行う。 (3)登録内容の変更、訂正が必要な場所は、履修登録変更締切日までにコンピュータ(履修登録ページ)で変更、訂正する。	(2)履修計画をもとに HBG Portal (履修登録ページ)で当該学期の履修登録を行う。 (3)登録内容の変更、訂正が必要な場所は、履修登録変更締切日までに HBG Portal (履修登録ページ)で変更、訂正する。
6	2. 履修制限(CAP制)について	(4行目)○直前の学期におけるGPAが75.0以上の場合	○直前の学期におけるGPAが3.00以上の場合
7	GPA(Grade Point Average)	上記の通り、変更する。	
7	学業成績不振学生への対応	GPA : 35	GPA : 1.40
25	広島文化学園短期大学履修規程	令和7年9月21日改訂版に差し替え	

目 次

広島文化学園短期大学	ディプロマ&カリキュラム・ポリシー	1
広島文化学園短期大学	アセスメントプラン (学修成果の評価に関する方針)	4
学科共通		
学修計画について		5
卒業要件と学位		5
単位の認定		5
資格について		6
履修について		6
G P A		7
学業成績不振学生への対応		7
広島文化学園短期大学の教養教育の理念・目的		8
広島文化学園短期大学におけるリベラルアーツについて		8
短期大学の副専攻プログラムについて		9
コミュニティ生活学科		
学科課程表		10
学修成果		14
カリキュラムマップ		15
食物栄養学科		
学科課程表		17
学修成果		19
カリキュラムマップ		20
保育学科		
学科課程表		21
学修成果		23
カリキュラムマップ		24
履修規程		
広島文化学園短期大学履修規程		25

広島文化学園短期大学 ディプロマ&カリキュラム・ポリシー

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

広島文化学園短期大学では、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する要件として、所定の単位を修得し、広島文化学園の建学の精神である「究理実践」に基づき、専門の知識・技術、職業又は實際生活に必要な能力、幅広く深い教養及び総合的な判断力、豊かな人間性、地域社会及び国際社会の発展に貢献できる力を身に付けることを求める。

具体的には次の4つの事項を求める。

- (1) 知識・理解
専攻する学問分野及び職業生活や社会生活に必要な基本的な知識を体系的に理解する。
- (2) 汎用的技能
専攻する学問分野に関する知的活動や職業生活、及び社会生活に必要な汎用的技能を身に付ける。
- (3) 態度・志向性
平和を希求し、地域社会の発展に積極的に貢献しようとする態度と志向性を身に付ける。
- (4) 総合的な学修経験と創造的思考力
知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題を解決する能力を身に付ける。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに示す4つの区分ごとに「最終的な学修到達目標」と「具体的な下位項目」をカリキュラムマップで示し、学修者中心の視点から学生のニーズに対応して、教養教育・専門教育・キャリア教育の三位一体となった教育課程を編成する。

なお、学修方法、学修内容、学修成果の評価は、次のように定める。

- (1) 学修方法
授業では、講義、演習、実験、実習等の教育内容に応じて、アクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用し、理論と実践を往還する学修を行う。
- (2) 学修内容
教養教育、専門教育及びキャリア教育に関する授業科目をバランスよく配置するとともに、大学への適応及び学修スキルの修得等のための初年次教育の充実を図る。
 - 1) 教養教育では、豊かな人間性に関する「生活と文化」、総合的な判断力に関する「数理・情報」、対話に基づく自己実現及び社会参画・社会貢献に関する「コミュニケーション」の3つの区分を置き、各区分に学科の専門教育及びキャリア教育との相乗効果が期待できる科目を配置する。
 - 2) 専門教育では、各学科の教育目的を達成するために必要な、必修科目と選択科目による体系的な教育課程を編成する。
 - 3) キャリア教育では、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるために、教養教育及び専門教育を通してキャリア形成力を養う。
- (3) 学修成果の評価
学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプランに基づき実施する。

コミュニティ生活学科

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

コミュニティ生活学科では、所定の単位を修得し、以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士（生活総合学）の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - 1) 生活に関する知識を身に付けている。
 - 2) 衣生活、食生活、人間関係に関する基本的知識を身に付けている。
 - 3) ファッション分野・フード分野の専門的知識を身に付けている。
 - 4) 社会的及び職業的自立を図るために必要な知識を身に付けている。
- (2) 汎用的技能
 - 1) 生活に関する技能を身に付けている。
 - 2) 衣生活、食生活、人間関係に関する基本的技能を身に付けている。
 - 3) ファッション分野・フード分野の専門的技能を身に付けている。
 - 4) 社会的及び職業的自立を図るために必要な汎用的技能を身に付けている。
- (3) 態度・志向性
 - 1) 個性豊かな生活づくりをする姿勢を身に付けている。
 - 2) 地域社会の文化形成に貢献する姿勢を身に付けている。
- (4) 総合的な学修経験と創造的思考力
 - 1) これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。
 - 2) 自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

コミュニティ生活学科の教育目的「衣、食、住、人間関係等の生活に関わる幅広い専門的知識と技能を養い、個性豊かな生活づくりと地域社会の文化形成に貢献できる人材を育成することを目的とする」を達成するために、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

（1）学修方法

- 1）実施する授業の形態は、講義、演習、実習をバランスよく配置し、知識と技能の修得を図る。
- 2）学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニングを実施する。
- 3）学内外での授業・研究等の成果発表やボランティア活動など、実践的な教育を重視した教育を実施する。

（2）学修内容

- 1）幅広く深い教養を培い、豊かな人間性を涵養するために教養科目を配置する。
- 2）専門科目は、生活に関する基本的知識・技能を総合的に養う「ライフデザインフィールド」、ファッションに関する専門的知識・技能を養う「ファッションフィールド」、フードに関する専門的知識・技能を養う「フードフィールド」、社会的及び職業的自立を図るために必要な知識と技能を養う「キャリアサポートフィールド」を設け、それぞれの目標達成のために必要な科目を配置する。
- 3）初年次教育として「セミナーⅠ」「セミナーⅡ」を配置し、学生生活への適応及び学修スキルの向上を図る。

（3）学修成果の評価

学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプランに基づき実施する。

食物栄養学科

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

食物栄養学科では、所定の単位を修得し、以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士（栄養学）の学位を授与する。

（1）知識・理解

- 1）栄養士として必要な「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」に関する最新の知見を取り入れた専門的知識を理解している。
- 2）栄養士の役割について理解している。
- 3）社会的自立を図るために必要な知識を理解している。

（2）汎用的技能

- 1）栄養士として必要な専門的スキルを修得している。
- 2）対象者一人一人の状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。
- 3）社会的自立を図るために必要なスキルを身に付けている。

（3）態度・志向性

- 1）対象者一人一人の食生活に即した栄養指導を構想することができる。
- 2）自らの食生活を振り返り、自己評価することができる。

（4）総合的な学修経験と創造的思考力

- 1）これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。
- 2）自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

食物栄養学科の教育目的「食と健康に関わる専門的な知識と技能を養い、栄養士として健康的で人間性豊かな生活づくりを指導できる人材を育成することを目的とする」を達成するために、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

（1）学修方法

- 1）実施する授業の形態は、講義、演習、実験、実習のいずれか、又は、これらの併用により行う。
- 2）各授業の実施に当たっては、積極的にアクティブ・ラーニングを取り入れる。
- 3）栄養士として地域の健康づくりに貢献する姿勢を養うため、実践の機会を設けたカリキュラム編成とする。

（2）学修内容

- 1）幅広く深い教養を培い、豊かな人間性を涵養するために教養科目を配置する。
- 2）専門科目は、栄養士免許、栄養教諭二種免許状、フードスペシャリスト受験資格を取得するために必要な科目を取り入れたカリキュラム編成にする。
- 3）大学への適応及び学修スキルの修得等のための初年次教育は、多様な入学生が自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できるよう、少人数制の「セミナーⅠ」「セミナーⅡ」で実施する。

（3）学修成果の評価

学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプランに基づき実施する。

保育学科

1.ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保育学科では、所定の単位を修得し、以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し、短期大学士（保育学）の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - 1) 保育の本質と目的について理解している。
 - 2) 保育に関する基本的知識を理解している。
 - 3) 社会的自立を図るために必要な知識を理解している。
- (2) 汎用的技能
 - 1) 子ども一人一人の生活や発達過程に応じた援助ができる。
 - 2) 保育に関する汎用的技能を身に付けている。
 - 3) 社会的自立を図るために必要な技能を身に付けている。
- (3) 態度・志向性
 - 1) 子どもの最善の利益を尊重することができる。
 - 2) 正しい価値観・倫理観と判断力を身に付け、自立した大人として市民としての責任を持った行動ができる。
- (4) 総合的な学修経験と創造的思考力
 - 1) これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。
 - 2) 自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保育学科の教育目的「保育・幼児教育に関する専門的知識と技能を養うとともに、社会の多様な保育ニーズに対応できる実力と豊かな人間性を備えた保育者を養成することを目的とする」を達成するために、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

- (1) 学修方法
 - 1) 教養に関する教育科目、専門・職業に関する教育科目を規程に即して設定し、講義、演習、実験、実習、実技指導等、教育目的に適した形式の授業を実施する。
 - 2) 学生が主体的・能動的に学修できるアクティブ・ラーニングの教育環境を準備し、可能な限りこの方法を取り入れる。
 - 3) 学内外での行事やボランティア活動、地域連携活動等、実践を通じた学びの機会をつくる。
- (2) 学修内容
 - 1) 幅広く深い教養を培い、豊かな人間性を涵養するための教養科目を配置する。
 - 2) 教育職員免許法施行規則に定められている教育内容と単位数を充足する科目を設け、幼稚園教諭として必要な最新の知見を取り入れた専門的知識と技能を養うための体系的なカリキュラム編成とする。
 - 3) 児童福祉法施行規則に定められている教育内容と単位数を充足する科目を設け、保育士として必要な知識と技術、及び人間性が身に付けられるような総合的なカリキュラム編成とする。
 - 4) 大学への適応及び学修スキルの修得等のための初年次教育は、少人数制の「セミナーⅠ」「セミナーⅡ」で実施する。
- (3) 学修成果の評価
 - 学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプランに基づき実施する。

広島文化学園短期大学のアセスメントプラン ~~(学修成果の評価に関する方針)~~

広島文化学園短期大学では、ディプロマ・ポリシー (DP)、カリキュラム・ポリシー (CP)、アドミッション・ポリシー (AP) の3つのポリシーに基づく教育の実施と、それらの自己点検・評価を通じた改善・改革の取組を、教育の質保証の中核として位置づける。

本アセスメントプランでは、大学全体レベル・学科レベル・科目レベルの3段階で、3つのポリシーの達成状況、学修成果・教育成果に対する測定・評価指標を以下の通り定める。

【各レベルの指標】

		入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
		アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー
大学全体レベル		各種入学試験結果 新入生調査 入学前教育に関する調査	GPA 単位修得状況 適性検査 “学生授業評価アンケート (学修行動調査を含む)” 学生満足度調査 休学率・退学率 アクティブ・ラーニング実施率 学修履歴証明書	GPA 単位修得状況 卒業研究 学位授与数・卒業決定率 免許・資格取得率 就職率・進学率 対人援助職への就職率 学生満足度調査 卒業生への振り返りアンケート調査 学修履歴証明書 就職先アンケート
学科共通		各種入学試験結果 新入生調査 入学前教育調査	GPA 単位修得状況 適性検査 “学生授業評価アンケート (学修行動調査を含む)” アクティブ・ラーニング実施率 休学率・退学率 学生満足度調査 夢カルテの活用 (記入率) 学修履歴証明書	GPA 単位修得状況 卒業研究 学位授与数・卒業決定率 免許・資格取得率 就職率・進学率 対人援助職への就職率 学生満足度調査 卒業生への振り返りアンケート調査 学修履歴証明書 就職先アンケート 学生への外部からの評価 (表彰等)
学科 レ ベ ル	コミュニティ 生活学科	入学前課題の取組状況	ボランティアへの参加度 オープンキャンパスでの成果発表 カフェでの成果発表 卒業制作パーティでの成果発表 卒業制作ファッションショーでの 成果発表	指定科目優秀認定証授与
	食物栄養学科	入学前教育の学習取組状況	夢カルテ	専門職比率 栄養士・栄養教諭二種免許状・フー ドスペシャリスト資格取得者数 教員採用試験・登録販売者試験合格 者数 栄養士実力認定試験結果 管理栄養士国家試験合格者数
	保育学科	入学前課題提出状況	ボランティア参加者数 学生ポートフォリオ 絵本の読み・漢字テスト等 夢カルテ	保育士資格取得率 幼稚園教諭 (二種) 免許取得率 幼児体育指導者 (2級) 取得者数 赤十字幼児安全法支援員資格取得者 数
科目レベル			成績評価 学生授業評価アンケート	

※上記の各指標は、必要に応じて追加・修正することがある。

学修計画について

卒業後、就職しようと考えている人、4年制大学へ進学しようと考えている人、それぞれの進みたい道や思い描く将来の夢は一人ひとり違います。

卒業後のなりたい自分をイメージし、それを達成するための目標を立て、その目標に近づくために必要な授業科目を学科課程表とシラバス（授業計画）を参考にして体系的に選択し、履修してください。

卒業要件と学位

卒業するためには、次表の条件（在学年数・修得単位数）を満たすことが必要です。卒業要件は学科によって異なるので、注意してください。

学 科 等	在学年数	教 養	専 門		教養・専門合計	学位の名称
			必 修	選 択		
コミュニティ生活学科	2年以上	12単位以上	12単位	38単位以上	62単位以上	短期大学士 (生活総合学)
食物栄養学科			16単位	34単位以上		短期大学士 (栄養学)
保育学科			28単位	22単位以上		短期大学士 (保育学)

単位の認定

評価基準と単位認定の関係は次のとおりです。

評価基準	評価	成績表の表記	単位認定	GP
90～100点	秀	S	認定	4
80～89点	優	A	認定	3
70～79点	良	B	認定	2
60～69点	可	C	認定	1
59点以下	不可	D	不認定	—
未受験（受験資格有り）		T	不認定	—
未受験（受験資格無し）		Z	不認定	—
既修得単位認定	認定	N	認定	—
履修中		R	—	—

- ・各授業科目は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。なお、単位修得に必要な学修には、授業時間外に必要な学修等を含みます。具体的な総授業時間数及び授業時間外学修時間数については、「学生生活の手引き（単位制ってなに?）」及び各科目の「シラバス（学修法）」を確認してください。
- ・授業実施回数数の3分の2以上の出席がなければ期末試験等の受験資格が与えられず、単位は不認定（Z）となります。その授業科目の単位を必要とする場合は、再履修してください。

資格について

短期大学では、卒業と同時に取得できる資格を次のように設けています。

学 科	取得できる資格	備 考
コミュニティ生活学科	中学校教諭二種免許状(家庭) フードコーディネーター3級	同時取得可
食物栄養学科	栄養士免許 栄養教諭二種免許状	同時取得可
保育学科	幼稚園教諭二種免許状 保育士資格 社会福祉主事任用資格	同時取得可

それぞれの資格を取得するためには、卒業資格（短期大学士）を有し、実習を含む必要単位を修得する必要があります。また、資格によっては、必要経費が発生するものがあるほか、単位ではない体験活動などが必要なものもあります。その他、資格取得に関してはいくつかの条件が定められていますので、よく確認してください。

なお、資格取得希望者や資格に関する教育課程履修者を対象に、オリエンテーションや説明会を行いますので、必ず出席してください。

履修について

1. 履修の手続き

履修しようとする授業科目は学生部に登録します。履修登録をしていない授業科目は履修することができません。締切日までに必ず履修登録をしてください。なお、上級学年の科目は原則履修できません。

履修登録は、チューターと相談しながら、次のように行ってください。

- (1) 履修の手引きとシラバス（大学ホームページ参照）を参考にして、2年間の履修計画を立てる。
- (2) 履修計画をもとに学内LANに接続されているコンピュータ HBG Portal（履修登録ページ）で当該学期の履修登録を行う。登録の手順はチューターの指導に従って行う。
- (3) 登録内容の変更、訂正が必要な場合は、履修登録変更締切日までにコンピュータ HBG Portal（履修登録ページ）で変更、訂正する。
- (4) 履修登録内容は必ず印刷し、保管する。

2. 履修制限（CAP制）について

1年間に履修できる単位数の上限は、48単位です。但し、次の場合は、上限を超えて履修することができます。

- セミナーⅠ・Ⅱ、卒業研究、集中講義、学外実習科目の場合
- 直前の学期におけるGPAが75.03.00以上の場合
- その他許可を得た場合

3. 授業の不開講について

非常勤講師担当科目の場合、履修者数が6名に達しなかった科目は不開講になります（卒業・資格必修科目は除く）。

4. シラバス

シラバスには、次の項目について記載しています。

1. 科目名 2. 担当教員名 3. 開講学年 4. 開講期 5. 単位数
6. 修得区分（必修・選択等） 7. 開講キャンパス 8. 開講形式 9. 授業の目的（ねらい）
10. 授業計画（授業のテーマ、講義内容、授業目標、教材） 11. 最終到達目標 12. 評価方法
13. 学修法（予習・復習等） 14. 教科書・参考図書等 15. その他（履修の要件等）
16. 学修成果との関連

※1～6・16については、履修の手引き「学科課程表（カリキュラム表）」「カリキュラムマップ」も確認してください。

5. 他学科の授業科目の履修

他学科で開講されている科目を履修し単位を修得することもできます。履修を希望する人は下記の手続きを経て、履修を行ってください。

- (1) 広島文化学園短期大学の他学科授業科目の場合は、「時間割外科目履修届」を提出する。
- (2) 広島文化学園大学の授業科目の場合は、「二大学単位互換履修願」を提出する。

※用紙は学生部にあります。必要事項を記入のうえ、授業担当教員・チューターの印を受け、締切日までに学生部に提出してください。

届・願名	開講対象	WEB登録	願・届	決定通知
時間割外科目履修届	同学科 下級学年	必要	不要	無
	他学科	不可	必要	
二大学単位互換履修願	広島文化学園大学	不可	必要	有

GPA (Grade Point Average)

(1) GPA制度の活用

GPAによって、自分自身がこれまでどの程度の成績を修めたか、客観的で総合的に判断することができます。よりよい成績が修められるように努力する指標になります。またGPAの得点が低い学生には、適切な学習のサポートができるよう、チューターが指導します。

(2) GPAの計算方法

次の計算式により、単位当たりの成績評価平均値（以下、GPAという。）を算出し、成績表に記載します。数値は100点満点を4.00として表示されます。

なお、受験資格有り而未受験（T）、受験資格無し而未受験（Z）、及び他大学で修得した科目で単位認定したものはGPAの対象外となります。

$$\frac{\text{秀 (S) の単位数} \times 4 + \text{優 (A) の単位数} \times 3 + \text{良 (B) の単位数} \times 2 + \text{可 (C) の単位数} \times 1}{\text{成績評価 (S・A・B・C・D) を受けた科目の総単位数}} \times 25$$

学業成績不振学生への対応

学業成績不振学生は、チューターの指導により学業改善計画書を作成し、学生部に提出しなければなりません。状況によっては保護者同伴で指導することがあります。

学業不振学生とは、次の表に示した基準を下回る（未満の）者としします。

また、2年後期末のGPAを、卒業判定の基準としても用います。

		1年前期末	1年後期末	2年前期末	2年後期末
コミュニティ生活学科	修得単位	10	20	40	62
	GPA	35 1.40	35 1.40	35 1.40	35 1.40
食物栄養学科	修得単位	15	30	45	62
	GPA	35 1.40	35 1.40	35 1.40	35 1.40
保育学科	修得単位	18	36	54	62
	GPA	35 1.40	35 1.40	35 1.40	35 1.40

広島文化学園短期大学の教養教育の理念・目的

広島文化学園短期大学における教養教育は、社会に貢献する人材を育成するために専門教育及び職業教育と車の両輪をなすものであり、建学の精神「究理実践」に基づき、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを目的としている。

そのため、豊かな人間性に関する「生活と文化」、総合的な判断力に関する「数理・情報」、対話に基づく自己実現及び社会参画・社会貢献に関する「コミュニケーション」の3つの区分を置き、各区分に学科の専門教育科目及び職業教育科目との相乗効果が期待できる科目を配置する。

広島文化学園短期大学におけるリベラルアーツについて

本学では、教養人として事物に束縛されず自由に物事を深く考究する基盤となる資質・能力を養うために、実践的で具体的な情報を扱うスキル、理論的な知識を扱うスキル、転移可能な多角的・汎用的スキルで構成されるリベラルアーツ教育を推進します。

複雑化し、相互に関連し合う知識社会において、本学リベラルアーツ教育は、実践的スキル（実践的で具体的な情報を扱うスキル）、知的スキル（理論的な知識を扱うスキル）、ソフトスキル（転移可能な多角的・汎用的スキル）で構成され、批判的思考と問題解決の力を養う。

短期大学の副専攻プログラムについて

短期大学では、専攻する学科の専門領域以外の特定の分野の科目を体系的に配置した「副専攻プログラム」を設置しています。単に他学科の科目を履修するだけでなく、高度な専門的知識を深めることができます。この制度を利用して一定の単位を修得すれば、卒業時に副専攻プログラムの修了証書が授与されます。

1. 「パソコンスキルプログラム」

1年次		2年次	
<u>ワープロ検定講座Ⅰ</u>	1単位	<u>パソコン活用演習</u>	2単位
<u>ワープロ検定講座Ⅱ</u>	1単位	<u>Web活用演習</u>	1単位
<u>表計算検定講座Ⅰ</u>	1単位		
<u>表計算検定講座Ⅱ</u>	1単位		

() : 数字は単位数
下線 : 必修科目

合計 単位 : 必修6科目 (7単位) をすべて履修してください。

2. 「フードビジネスプログラム」

1年次		2年次	
<u>フード商品企画</u>	1単位	<u>フードサービス論</u>	2単位
<u>テーブルコーディネート論</u>	2単位	<u>カフェプランニング</u>	1単位
		<u>フードスタイリング演習</u>	1単位

() : 数字は単位数
下線 : 必修科目

合計 単位 : 必修5科目 (7単位) をすべて履修してください。

3. 副専攻プログラム履修の注意点

このプログラムは1年生前期から受講が可能です。副専攻プログラムは、食物栄養学科・保育学科に在籍する学生を対象としています。コミュニティ生活学科の授業科目の一部が副専攻プログラム開講科目として位置づけられています。

- (1) 他学科履修として15単位を超えない範囲で履修できます。CAP制の対象外となります。
- (2) 上級学年の科目は履修できません。
- (3) すべての科目について「時間割外科目履修届」を学生部に提出してください。
- (4) 「時間割外科目履修届」の作成時には、担当教員の押印を必ず受けてください。

学科課程表

コミュニティ生活学科（令和7年度入学生）

(R7)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				中学校教諭一種	フードコーディネーター		
				前	後	前	後						
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ(トレーニング)	鄭勳九	1	2				○	◎		集中講義 前期・後期開講	12単位以上
		スポーツ(競技)	鄭勳九	1		2			○	◎			
		日本国憲法	檜垣宏太	2			2		○	◎			
		日本文化入門	道本久枝	2		2			○				
		ひろしま学	山内雅弥	2		2			○				
		日本語と現代社会	久保浩志	2	2				○				
		SDGs	岡田正浩	2	2				○				
	数理・情報	リアルな数学	古川博仁	2	2	2			○				
		情報リテラシー	古川博仁 塩見雅昭	2	2				○	◎			
		コンピュータ活用演習	古川博仁	1		2			○				
	コミュニケーション	日本語コミュニケーション	久保浩志	2		2			○				
		英語会話	毛利カリーナ	2	2				○	◎			
		中国語入門	劉鳴	2		2			○				
		韓国語入門	李賛任	2		2			○				
		手話入門	宇佐川弘子	2		2			○				
		ミュージックアンソングル(ベーシック)	折田吉弘	1	2				○				
		ミュージックアンソングル(アドバンス)	折田吉弘	1		2			○				
海外語学演習	廣澤美花	1			2		○						
専門に関する教育科目	研究	セミナーⅠ	(注1)	1	2				○			必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		セミナーⅡ	(注1)	1		2			○				
		卒業研究	(注1)	2		2	2		○				
	人とかかわる	社会心理学	廣兼孝信	2	2				○				
		人間関係論	廣兼孝信	2		2			○				
		コミュニティ論	相田美穂	2		2			○				
		ボランティアⅠ	廣兼孝信	1		2			○				
		ボランティアⅡ	廣兼孝信	1		2			○				
	生活を知る	生活学Ⅰ	海切弘子 廣澤美花 佐々本恵万 井堰絵里佳	2	2				○				
		生活学Ⅱ	海切弘子 高橋佑子 佐々本恵万 井堰絵里佳	2		2			○				
		生活と環境	矢野孝江	2		2			○				
		保育学	今井裕子	2		2			○	◎	実習を含む		
		住居学	井堰絵里佳	2			2		○	◎			
		生活経営	田谷真由美	2		2			○	◎	家族関係学と家庭経営学を含む		
生活経済学		田谷真由美	2			2		○	◎	家庭経済学を含む			

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				中学校教諭一種	フードコーディネーター		
				前	後	前	後						
ライフデザインフィールド	生活を創る	色彩学	高橋佑子	2	2				○				
		織物	南容子	1		2			○				
		陶芸	藤川稔	1			2		○				
		フォトクリエイトⅠ	近藤聖子	1	2				○				
		フォトクリエイトⅡ	福角智江	1		2			○				
		インテリア論	井堰絵里佳	2	2				○				
		インテリアデザイン	井堰絵里佳	1		2			○				
		デザイン論	井堰絵里佳	2		2			○				
		ディスプレイデザイン	井堰絵里佳	1			2		○				
専門に関する教育科目	ファッションデザイン	ファッション文化論	高橋佑子	2			2		○	○		必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		ファッションデザイン論	戸谷多加	2	2				○				
	ファッション製作	被服学	佐々本恵万	2	2				○	◎			
		被服製作実習Ⅰ	佐々本恵万	1	2				○	◎			
		被服製作実習Ⅱ	佐々本恵万	1		2			○				
		ファッションクリエイトⅠ	今井裕子	1			2		○				
		ファッションクリエイトⅡ	今井裕子	1				2	○				
	ファッションビジネス	ファッションビジネス論	戸谷多加	2	2				○				
		ファッションビジネス演習	戸谷多加	1		2			○				
		アパレル商品知識	佐々本恵万	2	2				○				
	ファッションスタイリング	パーソナルカラー論	高橋佑子	2		2			○				
		パーソナルカラー演習	高橋佑子	1			2		○				
		パーソナルスタイリング	高橋佑子	1				2	○				
	メイクアップ	メイクテクノロジー	札幌由麻	1	2				○				
		メイクアップ演習Ⅰ	札幌由麻	1		2			○				
		メイクアップ演習Ⅱ	札幌由麻	1			2		○				
		メイクアップ演習Ⅲ	札幌由麻	1			2		○				
		美容総論	札幌由麻	2				2	○				
	ネイルケア	ネイルテクノロジー	田中美貴	1		2			○				
		ネイリスト演習	藤法恵子	1			2		○				
		ネイリスト研修	藤法恵子	1				2	○				
フードフィールド	フードコーディネート	フードコーディネート論	向島佳織	2	2				○	◎	栄養学、食品学を含む		
		食物学	福田明子	2			2		○	◎◎			
		食品衛生学	海切弘子	2		2			○	◎			
		食文化論	向島佳織	2				2	○	◎			
		ライフステージの食事	向島佳織	1			2		○	◎			

(R7)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				中学校教諭一種	フードコーディネーター			
				前	後	前	後							
専門に関する教育科目	料理	調理学	2	2					○	○	◎	オムニバス	必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		調理学実習	1		2				○	◎	◎			
		調理学演習	1		2				○		◎			
		料理実習Ⅰ	1				2		○					
		料理実習Ⅱ	1				2		○					
	製菓	製菓論	高野恭秀	2		2				○				
		製菓演習	高野恭秀	1		2				○				
		洋菓子実習	高野恭秀	1			2			○				
		製パン実習	高野恭秀	1			2			○				
	フードファイルド ブライダルプランニング	ブライダル総論	廣澤美花	2	2					○				
		ブライダルサービス演習	廣澤美花	1		2				○				
		ブライダルプランニング	廣澤美花	2			2			○				
		ブライダルコーディネート演習	廣澤美花	1				2		○				
		ブライダル検定講座	今井裕子	1		2				○				
	フードビジネス	フード商品企画	向島佳織	1		2				○				
		テーブルコーディネート論	佐々木晴美	2		2				○	◎			
		フードサービス論	入江崇文	2			2			○	◎			
		カフェプランニング	海切弘子 向島佳織	1			2			○	◎			
		フードスタイリング演習	佐々木晴美	1			2			○	◎			
		イベントプランニング	海切弘子 廣澤美花 向島佳織	1				2		○	◎			
	キャリアサポートファイルド	パソコンスキル	ワープロ検定講座Ⅰ	廣兼孝信	1	2					○			
			ワープロ検定講座Ⅱ	廣兼孝信	1		2				○			
			表計算検定講座Ⅰ	福井富士子	1	2					○			
			表計算検定講座Ⅱ	福井富士子	1		2				○			
			パソコン活用演習	井堰絵里佳	2			2			○			
			Web活用演習	井堰絵里佳	1			2			○			
ビジネススキル		Webデザイン演習	井堰絵里佳	1				2		○				
		キャリアデザイン	廣澤美花	2		2				○				
		簿記会計	塩見雅昭	2		2				○				
		ビジネス検定講座	岩本健二	2		2				○				
		色彩検定講座	高橋佑子	1		2				○				
		接遇検定講座	梅本昌子	1			2			○				
ビジネス英語	川端真規子	2			2			○						

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				中学校教諭二種	ブロードコーディネーター		
				前	後	前	後						
専門に関する教育科目 キャリアサポートフィールド	医療事務	医療事務Ⅰ	2	2					○		集中講義 研修、服務および身分保障等を含む 教育課程の意義及び編成の方法を含む 情報機器及び教材の活用を含む 進路指導を含む カウンセリングを含む 事前事後指導 1 単位含む	必修12単位・選択38単位以上、合計50単位以上	
		医療事務Ⅱ	4	4					○				
	就職サポート	就職対策講座Ⅰ	1		2				○				
		就職対策講座Ⅱ	1			2			○				
	教職※	教職概論	田島美帆	2	2					○			◎
		教育原理	田島美帆	2		2				○			◎
		教育心理学	花本美代	2		2				○			◎
		教育制度	松元健治	2			2			○			◎
		特別支援教育	三村千秋	2			2			○			◎
		家庭科教育法	佐藤園	2		2				○			◎
		道徳教育論	古賀直樹	1		1				○			◎
		総合的な学習の時間の指導法	清見嘉文	2			2			○			◎
		特別活動論	山田重則	1		1				○			◎
		教育方法論(ICTを含む)	海切弘子	2	2					○			◎
		生徒指導論	山田重則	2			2			○			◎
		教育相談	澤田良子	2				2		○			◎
教育実習	佐々本恵万	5			9			○	◎				
教職実践演習(中学校教諭家庭)	佐々本恵万	2				2		○	◎				

【「免許・資格」欄：◎免許・資格必修科目／○免許・資格選択科目（中学校教諭二種は4単位以上修得）】

※教職ユニットからは10単位まで卒業単位に含めることができる

(注1) 高橋佑子、海切弘子、廣兼孝信、向島佳織、廣澤美花、井堰絵里佳、佐々本恵万

卒業に必要な単位

62単位以上

コミュニティ生活学科の学修成果

学修成果とは、卒業までに皆さんに身に付けてほしいことです。

学科ごとに、最終的な学修到達目標とその具体的な下位項目を設定しています。

カリキュラムマップは、科目ごとに、学修到達目標を示しています。

シラバス（授業計画）には、この科目を履修し、単位を修得すれば、どのような学修成果が得られるのかを学修到達目標の番号で示しています。

	学修到達目標	下位項目	
コミュニティ生活学科	知識・理解	①生活に関する知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる基本的な知識を身に付けている。 ・家庭生活の基本的な知識を身に付けている。 ・豊かな生活を創造する基本的な知識を身に付けている。
		②衣生活、食生活、人間関係に関する基本的知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活に関する基本的な知識を身に付けている。 ・食生活に関する基本的な知識を身に付けている。 ・人間関係に関する基本的な知識を身に付けている。
		③ファッション分野・フード分野の専門的知識を身に付けている。	ファッション分野 <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン・文化の基本的な知識を身に付けている。 ・ファッションスタイリングの基本的な知識を身に付けている。 ・アパレル製作の基本的な知識を身に付けている。 ・ファッションビジネスの基本的な知識を身に付けている。 フード分野 <ul style="list-style-type: none"> ・フードの基本的な知識を身に付けている。 ・料理・製菓の基本的な知識を身に付けている。 ・フードサービス・フードビジネスの基本的な知識を身に付けている。 ・フードコーディネートの基本的な知識を身に付けている。 ・ブライダルコーディネートの基本的な知識を身に付けている。
		④社会的及び職業的自立を図るために必要な知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要な知識を身に付けている。 ・職業的自立を図るために必要な知識を身に付けている。
	汎用的技能	①生活に関する技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる基本的な技能を身に付けている。 ・家庭生活の基本的な技能を身に付けている。 ・豊かな生活を創造する基本的な技能を身に付けている。
		②衣生活、食生活、人間関係に関する基本的技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を主体的に構築できる。 ・食生活を主体的に構築できる。 ・他者との円満な関係を築くことができる。
		③ファッション分野・フード分野の専門的技能を身に付けている。	ファッション分野 <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン・文化の基本的な技能を身に付けている。 ・ファッションスタイリングの基本的な技能を身に付けている。 ・アパレル製作の基本的な技能を身に付けている。 ・ファッションビジネスの基本的な技能を身に付けている。 フード分野 <ul style="list-style-type: none"> ・フードの基本的な技能を身に付けている。 ・料理・製菓の基本的な技能を身に付けている。 ・フードサービス・フードビジネスの基本的な技能を身に付けている。 ・フードコーディネートの基本的な技能を身に付けている。 ・ブライダルコーディネートの基本的な技能を身に付けている。
		④社会的及び職業的自立を図るために必要な汎用的技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要な技能を身に付けている。 ・職業的自立を図るために必要な技能を身に付けている。
	態度・志向性	①個性豊かな生活づくりをする姿勢を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性を生かした生活をする姿勢を身に付けている。 ・実践的な学習を通して生活に関する課題を見つける姿勢を身に付けている。
		②地域社会の文化形成に貢献する姿勢を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学修成果を生かして地域社会に貢献する姿勢を身に付けている。 ・実践的な学習を通して地域社会における課題を見つける姿勢を身に付けている。
	総合的な学修経験と創造的思考力	①これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学修を活用し、研究や制作を行う力を身に付けている。 ・研究や制作を通して、理論的・創造的な思考力を身に付けている。
		②自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・研究や制作を通して、課題の解決に取り組む姿勢を身に付けている。 ・研究や制作を通して、新しい課題を見つける姿勢を身に付けている。

カリキュラムマップ

コミュニティ生活学科（令和7年度入学生）

	授業科目名	授業形態	学 修 到 達 目 標																
			知識・理解				汎用的技能				態度・志向性		総合的な学修経験と創造的思考力						
			①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	①	②					
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ（トレーニング）	演習				○												
		スポーツ（競技）	演習				○												
		日本国憲法	講義				○												
		日本文化入門	講義				○												
		ひろしま学	講義				○												
		日本語と現代社会	講義				○												
	数理・情報	リアルな数学	講義				○												
		情報リテラシー	演習				○												
	コミュニケーション	コンピュータ活用演習	演習				○												
		日本語コミュニケーション	講義				○												
		英語会話	講義				○												
		中国語入門	講義				○												
		韓国語入門	講義				○												
		手話入門	講義				○												
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	演習				○												
		ミュージックアンサンブル(アドバンス)	演習				○												
	専門に関する教育科目	研究	海外語学演習	演習				○											
			セミナーⅠ	演習								○	○						
セミナーⅡ			演習								○	○							
ライフデザインフィールド		人とかかわる	卒業研究	演習										○	○				
			社会心理学	講義	○	○			○	○									
			人間関係論	講義	○	○			○	○									
			コミュニティ論	講義	○				○										
			ボランティアⅠ	演習	○				○										
		生活を知る	ボランティアⅡ	演習	○				○										
			生活学Ⅰ	講義	○	○			○	○									
	生活学Ⅱ		講義	○	○			○	○										
	生活と環境		講義	○				○											
	保育学		講義	○				○											
	住居学		講義	○				○											
	生活経営		講義	○				○											
	生活を創る	生活経済学	講義	○				○											
		色彩学	講義	○				○											
		織物	演習	○				○											
		陶芸	演習	○				○											
		フォトクリエイトⅠ	演習	○				○											
フォトクリエイトⅡ		演習	○				○												
インテリア論		講義	○				○												
インテリアデザイン		演習	○				○												
ファッションフィールド	ファッションデザイン	デザイン論	講義	○				○											
		ディスプレイデザイン	演習	○				○											
	ファッション制作	ファッション文化論	講義			○													
		ファッションデザイン論	講義			○													
		被服学	講義			○													
		被服製作実習Ⅰ	実習			○													
	ファッションビジネス	被服製作実習Ⅱ	実習			○													
		ファッションクリエイイトⅠ	演習			○													
		ファッションクリエイイトⅡ	演習			○													
	ファッションスタイリング	ファッションビジネス論	講義			○													
ファッションビジネス演習		演習			○														
アパレル商品知識		講義			○	○													
パーソナルカラー論		講義			○														
メイクアップ	パーソナルカラー演習	演習			○														
	パーソナルスタイリング	演習			○														
	メイクテクノロジー	演習			○														
	メイクアップ演習Ⅰ	演習			○														
	メイクアップ演習Ⅱ	演習			○														
ネイルケア	メイクアップ演習Ⅲ	演習			○														
	美容総論	講義			○														
	ネイルテクノロジー	演習			○														
	ネイルリスト演習	演習			○														
		ネイルリスト研修	演習			○	○												

	授業科目名	授業形態	学 修 到 達 目 標															
			知識・理解				汎用的技能				態度・志向性		総合的な学修経験と創造的思考力					
			①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	①	②				
専門に関する教育科目	フード基礎	フードコーディネート論	講義			○				○								
		食物学	講義			○				○								
		食品衛生学	講義			○				○								
		食文化論	講義			○				○								
		ライフステージの食事	演習			○				○								
	料理	調理学	講義			○				○								
		調理学実習	実習			○				○								
		調理学演習	演習			○				○								
		料理実習Ⅰ	実習			○				○								
		料理実習Ⅱ	実習			○				○								
	製菓	製菓論	講義			○				○								
		製菓演習	演習			○				○								
		洋菓子実習	実習			○				○								
		製パン実習	実習			○				○								
	ブライダルプランニング	ブライダル総論	講義			○				○								
		ブライダルサービス演習	演習			○				○								
		ブライダルプランニング	講義			○				○								
		ブライダルコーディネート演習	演習			○	○			○	○							
	フードビジネス	ブライダル検定講座	演習			○				○								
		フード商品企画	演習			○				○								
		テーブルコーディネート論	講義			○				○								
		フードサービス論	講義			○				○								
		カフェプランニング	演習			○				○								
		フードスタイリング演習	演習			○				○								
		イベントプランニング	演習			○				○								
	フードクリエイティブ	演習			○				○									
	パソコンスキル	ワープロ検定講座Ⅰ	演習				○					○						
		ワープロ検定講座Ⅱ	演習				○					○						
		表計算検定講座Ⅰ	演習				○					○						
		表計算検定講座Ⅱ	演習				○					○						
		パソコン活用演習	演習				○					○						
		Web活用演習	演習				○					○						
		Webデザイン演習	演習				○					○						
	キャリアデザイン	キャリアデザイン	講義			○				○								
		簿記会計	講義			○				○								
		ビジネス検定講座	講義			○				○								
		色彩検定講座	演習			○				○								
		接遇検定講座	演習			○	○			○	○							
	医療事務	ビジネス英語	講義			○				○								
		医療事務Ⅰ	講義			○				○								
	就職サポート	医療事務Ⅱ	講義			○				○								
		就職対策講座Ⅰ	演習			○				○								
	教職	就職対策講座Ⅱ	演習			○				○								
		教職概論	講義			○				○								
		教育原理	講義			○				○								
教育心理学		講義			○				○									
教育制度		講義			○				○									
特別支援教育		講義			○				○									
家庭科教育法		講義			○				○									
道徳教育論		講義			○				○									
総合的な学習の時間の指導法		講義			○				○									
特別活動論		講義			○				○									
教育方法論 (ICTを含む)		講義			○				○									
生徒指導論		講義			○				○									
教育相談		講義			○				○									
教育実習		実習			○				○									
教職実践演習 (中学校教諭家庭)		演習			○				○									

学科課程表

食物栄養学科（令和7年度入学生）

(R7)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格			備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				栄養士	栄養教諭二種	フードスペシャリスト		
				前	後	前	後							
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ(トレーニング)	鄭勳九	1	2				○	◎		集中講義	12単位以上	
		スポーツ(競技)	鄭勳九	1		2			○	◎				
		日本国憲法	檜垣宏太	2			2		○	◎				
		社会心理学	廣兼孝信	2	2				○					
		食とアート	森末里子	2			2		○					
		社会生活とマナー	樽本幸美	2	2				○					
	数理・情報	SDGs	岡田正浩	2	2				○					
		リアルな数学	古川博仁	2	2				○					
		情報リテラシー	葉名雅之	2	2				○		◎			
		コンピュータ活用演習	葉名雅之	1		2			○					
		基礎化学	坂本宏司	2	2				○					
	コミュニケーション	基礎生物学	岡田正浩	2	2				○					
		日本語コミュニケーション	野々村憲	2		2			○					
		英語会話	毛利カリーナ	2			2		○		◎			
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	折田吉弘	1	2				○					
		ミュージックアンサンブル(アドバンス)	折田吉弘	1		2			○					
海外語学演習	廣澤美花	1			2		○							
専門に関する教育科目	社会生活と健康	セミナーⅠ	(注1)	1	2				○			集中講義	必修16単位・選択34単位以上、合計50単位以上	
		セミナーⅡ	(注1)	1		2			○					
		卒業研究	(注1)	2			2	2	○					
	人体の構造と機能	人間関係論	廣兼孝信	2		2			○					
		公衆衛生学	谷口誠	2			2		○	◎	◎			
		社会福祉概論	野原ひでの	2				2	○	◎	◎			
		解剖生理学Ⅰ	平野文男	2	2				○	◎	◎			
		解剖生理学Ⅱ	岡田正浩	2		2			○	◎	◎			
		解剖生理学実習	岡田正浩	1			3		○	◎	◎			
		入門生化学	谷本昌太	2		2			○	◎	◎			
	食品と衛生	生化学	谷本昌太	2			2		○	◎	◎			
		生化学実験	岡田正浩	1				3	○	◎	◎			
		食品学Ⅰ	萱島隆之	2	2				○	◎	◎			
		食品学Ⅱ	萱島隆之	2		2			○	◎	◎			
		食品学実験	萱島隆之	1	3				○	◎	◎			
	栄養と健康	食品衛生学	萱島隆之	2		2			○	◎	◎			
		食品衛生学実験	萱島隆之	1			3		○	◎	◎			
		基礎栄養学	山内有信	2	2				○	◎	◎			
		ライフステージの栄養学	石尾はつみ	2		2			○	◎	◎			
		ライフステージの栄養学実習	江坂美佐子	1			3		○	◎	◎			
臨床栄養学総論		伊藤由美子	2			2		○	◎	◎				
臨床栄養学各論		小柳賀寿恵	2				2	○	◎	◎				
臨床栄養学実習		小柳賀寿恵	1				3	○	◎	◎				
スポーツ栄養学	石尾はつみ	2				2	○							

(R7)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格			備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				栄養士	栄養教諭二種	フードスペシャリスト			
				前	後	前	後								
専門に関する教育科目	栄養の指導	栄養指導総論	江坂美佐子	2	2				○		◎	◎		必修16単位・選択34単位以上、合計50単位以上	
		栄養指導各論	江坂美佐子	2		2				○	◎	◎			
		栄養指導各論実習Ⅰ	井上小雪	1			3			○	◎	◎			
		栄養指導各論実習Ⅱ	江坂美佐子	1				3		○	◎	◎			
		公衆栄養学	加島浩子	2				2		○	◎	◎			
	給食の運営	調理学	村田美穂子	2	2				○		◎	◎	◎		校外実習対応 栄養士実力認定試験・フードスペシャリスト対応
		調理科学実験	村田美穂子	1		3				○	◎	◎	◎		
		調理実習（初級）	村田美穂子	1	3					○	◎	◎	◎		
		調理実習（中級）	岡田理恵	1		3				○	◎	◎	◎		
		調理実習（上級）	岡田理恵	1			3			○	◎	◎			
		製菓・製パン実習	山本義春	1				3		○					
		給食計画・実務論	石尾はつみ	2	2					○	◎	◎			
		給食計画・実務論演習	石尾はつみ	2	2					○	◎	◎			
	給食計画・実務論実習	石尾はつみ	1		3				○	◎	◎				
	演習	栄養演習Ⅰ	江坂美佐子 石尾はつみ	2			2			○					
		栄養演習Ⅱ	江坂美佐子	2				2		○					
	臨地実習	給食実務校外実習	江坂美佐子 石尾はつみ	1			1			○	◎	◎			
		老人ホーム実習	江坂美佐子	1			1			○					
		病院実習	石尾はつみ	1			1			○					
	フード	フードスペシャリスト論	萱島隆之	2			2			○			◎		
フードコーディネーター論		森末里子	2				2		○			◎			
食品流通論		萱島隆之	2				2		○			◎			
	医薬品総論	磨清香	2	2					○						
	医薬品各論	磨清香	2		2				○						
栄養教諭※	教職概論	田島美帆	2	2								◎	事前事後指導1単位を含む		
	教育原理	田島美帆	2		2							◎			
	教育心理学	花本美代	2		2							◎			
	教育制度	松元健治	2			2						◎			
	特別支援教育	三村千秋	2			2						◎			
	道徳教育論	古賀直樹	1		1							◎			
	総合的な学習の時間の指導法	清見嘉文	2				2					◎			
	特別活動論	山田重則	1		1							◎			
	教育方法論	村田美穂子	2	2								◎			
	生徒指導論	山田重則	2			2						◎			
	教育相談	澤田良子	2				2					◎			
	学校栄養教育論	村田美穂子 高綱隆子	2		2							◎			
	栄養教育実習	村田美穂子	2			*	*					◎			
教職実践演習（栄養教諭）	村田美穂子 高綱隆子	2				2					◎				

【「免許・資格」欄：◎免許・資格必修科目（栄養教諭二種）】

※栄養教諭二種は栄養士免許を基礎資格とする

（注1）村田美穂子、萱島隆之、岡田正浩、江坂美佐子、石尾はつみ

卒業に必要な単位

62単位以上

食物栄養学科の学修成果

学修成果とは、卒業までに皆さんに身に付けてほしいことです。

学科ごとに、最終的な学修到達目標とその具体的な下位項目を設定しています。

カリキュラムマップは、科目ごとに、学修到達目標を示しています。

シラバス（授業計画）には、この科目を履修し、単位を修得すれば、どのような学修成果が得られるのかを学修到達目標の番号で示しています。

	学修到達目標	下位項目	
食物栄養学科	知識・理解	①栄養士として必要な「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」に関する最新の知見を取り入れた専門的知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境と健康との関係を理解している。 ・保健、医療、福祉、介護システムの概要を理解している。 ・人体の仕組みについて、構造や機能を理解している。 ・食事、運動、休養などの基本的な生活活動や環境変化に対する人体の適応について理解している。 ・食品の各種成分の栄養特性について理解している。 ・食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法について理解している。 ・栄養とは何か、その意義と栄養素の代謝及び生理的意義を理解している。 ・性、年齢、生活・健康状態等における特徴を理解している。 ・各種疾患における基本的な食事療法について理解している。 ・個人、集団及び地域レベルでの栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について理解している。 ・基本的な栄養指導の方法について理解している。 ・給食業務を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サービス提供に関する知識を理解している。
		②栄養士の役割について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾患に対する食事療法や栄養指導を理解している。 ・性、年齢、生活・健康状態等に応じた栄養指導を理解している。 ・給食施設で栄養士が行う給食管理や栄養指導を理解している。
		③社会的自立を図るために必要な知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要な知識を理解している。
	汎用的技能	①栄養士として必要な専門的スキルを修得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、運動、休養などの基本的な生活活動や環境変化に対する人体の適応について修得している。 ・食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法について修得している。 ・性、年齢、生活・健康状態等における栄養生理的特徴及び各種疾患における基本的な食事療法について修得している。 ・基本的な栄養指導の方法について修得している。 ・給食業務を行うために必要な調理の技術を修得している。 ・食事計画など給食サービス提供に関する技術を修得している。
		②対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾患に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 ・対象者の性、年齢、生活・健康状態等に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。
		③社会的自立を図るために必要なスキルを身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立を図るために必要なスキルを身に付けている。
	態度・志向性	①対象者一人ひとりの食生活に即した栄養指導を構想することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種疾患に応じた栄養指導を構想することができる。 ・対象者の性、年齢、生活・健康状態等に応じた栄養指導を構想することができる。
		②自らの食生活を振り返り、自己評価することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの食生活を振り返り、正しく認識することができる。 ・修得した知識を基に自らの食生活を評価することができる。
	総合的な学修経験と創造的思考力	①これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに獲得した栄養士として必要な知識を総合的に活用できる。 ・これまでに獲得した専門的スキルを総合的に活用できる。 ・これまでに獲得した栄養士として必要な態度等を総合的に活用できる。
		②自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題点を見つけ、課題を立てることができる。 ・課題解決に積極的に取り組むことができる。

カリキュラムマップ

食物栄養学科（令和7年度入学生）

	授業科目名	授業形態	学修到達目標												
			知識・理解			汎用的技能			態度・志向性		総合的な学修経験と創造的思考力				
			①	②	③	①	②	③	①	②	①	②			
教養に関する教育科目	生活と文化	スポーツ（トレーニング）	演習			○									
		スポーツ（競技）	演習			○									
		日本国憲法	講義			○									
		社会心理学	講義			○									
		食とアート	講義			○									
		社会生活とマナー	講義			○									
	数理・情報	SDGs	講義			○									
		リアルな数学	講義			○									
		情報リテラシー	演習			○									
	コミュニケーション	コンピュータ活用演習	演習												
		基礎化学	講義			○									
		基礎生物学	講義			○									
		日本語コミュニケーション	講義			○									
		英語会話	講義			○									
	専門に関する教育科目	と健康	ミュージックアンサンブル(ベーシック)	演習											
ミュージックアンサンブル(アドバンス)			演習												
海外語学演習			演習			○									
と健康		海外語学演習	演習			○									
		セミナーⅠ	演習										○		
		セミナーⅡ	演習										○		
と健康		卒業研究	演習										○	○	
		人間関係論	講義	○											
		公衆衛生学	講義	○											
と健康		社会福祉概論	講義	○											
		解剖生理学Ⅰ	講義	○											
		解剖生理学Ⅱ	講義	○											
		解剖生理学実習	実験・実習	○				○							
		入門生化学	講義	○											
と健康		生化学	講義	○											
	生化学実験	実験・実習	○				○								
	食品学Ⅰ	講義	○												
	食品学Ⅱ	講義	○												
と健康	食品学実験	実験・実習	○				○								
	食品衛生学	講義	○												
	食品衛生学実験	実験・実習	○				○								
	基礎栄養学	講義	○	○											
と健康	ライフステージの栄養学	講義	○	○								○			
	ライフステージの栄養学実習	実験・実習	○	○			○	○				○			
	臨床栄養学総論	講義	○	○								○			
	臨床栄養学各論	講義	○	○								○			
	臨床栄養学実習	実験・実習	○	○			○	○				○			
	スポーツ栄養学	講義	○	○								○			
	栄養指導総論	講義	○	○								○			
と健康	栄養指導各論	講義	○	○								○			
	栄養指導各論実習Ⅰ	実験・実習	○	○			○	○				○			
	栄養指導各論実習Ⅱ	実験・実習	○	○			○	○				○			
	公衆栄養学	講義	○	○								○			
と健康	調理学	講義	○	○											
	調理科学実験	実験・実習	○	○			○								
	調理実習（初級）	実験・実習	○	○			○	○							
	調理実習（中級）	実験・実習	○	○			○	○							
	調理実習（上級）	実験・実習	○	○			○	○							
	製菓・製パン実習	実験・実習	○	○			○	○							
	給食計画・実務論	講義	○	○											
	給食計画・実務論演習	演習	○	○			○	○							
と健康	給食計画・実務論実習	実験・実習	○	○			○	○							
	栄養演習Ⅰ	演習	○	○			○	○				○			
と健康	栄養演習Ⅱ	演習	○	○			○	○				○			
	給食実務校外実習	実験・実習	○	○			○	○				○			
	老人ホーム実習	実験・実習	○	○			○	○				○			
と健康	病院実習	実験・実習	○	○			○	○				○			
	フード	講義	○												
	フードスペシャリスト論	講義	○												
と健康	フードコーディネーター論	講義	○												
	食品流通論	講義	○												
	医薬品総論	講義	○		○										
	医薬品各論	講義	○		○										
	教職概論	講義			○										
	教育原理	講義			○										
	教育心理学	講義			○										
	教育制度	講義			○										
	特別支援教育	講義			○										
	道徳教育論	講義			○										
	特別活動論	講義			○										
	総合的な学習の時間の指導法	講義			○										
	教育方法論	講義		○											
	生徒指導論	講義			○										
	教育相談	講義			○										
学校栄養教育論	講義			○											
栄養教育実習	実験・実習			○							○				
教職実践演習（栄養教諭）	演習			○								○			

学科課程表

保育学科（令和7年度入学生）

(R7)

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数
				1年		2年				幼稚園教諭一種	保育士		
				前	後	前	後						
教養に関する教育科目	生活と文化	体育理論	新本惣一郎	1	1				○	◎	◎	集中講義 夏季集中講義	12単位以上
		体育実技	新本惣一郎	1	1	2			○	◎	◎		
		日本国憲法	檜垣宏太	2			2		○	◎			
		社会心理学	廣兼孝信	2	2				○				
		人間関係論	廣兼孝信	2		2			○				
		社会生活とマナー	梅本昌子	2		2			○				
		SDGs	岡田正治	2	2				○				
	数理・情報	リアルな数学	古川博仁	2	2				○				
		情報リテラシー	葉名雅之	2	2			○		◎			
		コンピュータ活用演習	葉名雅之	1		2			○				
	コミュニケーション	文書デザイン基礎	廣兼孝信	2	2				○				
		日本語コミュニケーション	野々村憲	2			2		○				
		英語会話	毛利カリーナ	2			2		○	◎	◎		
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	折田吉弘	1	2				○				
	ミュージックアンサンブル(アドバンス)	折田吉弘	1		2			○					
	海外語学演習	廣澤美花	1			2		○					
専門に関する教育科目	保育教育の本質の理解に関する科目	セミナーⅠ	(注1)	1	2			○			通年履修	必修28単位・選択22単位以上、合計50単位以上	
		セミナーⅡ	(注1)	1		2		○					
		卒業研究	(注1)	2			2	2	○				
	教育制度課程	社会福祉	西川勝利	2	2				○				◎
		子ども家庭福祉	西川勝利	2	2				○				◎
		保育原理	金子忍	2	2				○				◎
		教職・保育者論	富田雅子	2	2				○	◎			◎
		社会的養護Ⅰ	福岡律子	2		2			○				◎
		教育原理	松元健治	2	2				○	◎			◎
		教育制度	松元健治	2				2	○	◎			
	保育の対象の理解に関する科目	特別支援教育	新谷慶子	2				2	○	◎			
		教育の方法・課程	角谷育美	2		2			○	◎			
		保育の計画と評価	角谷育美	2			2		○				◎
		教育相談	和田美紗子	2				2	○	◎			
		保育の心理学	花本美代	2	2				○	○			◎
		子ども家庭支援の心理学	花本美代	2				2	○				◎
		教育心理学	花本美代	2		2			○	◎			○
		子どもの保健	富永説子	2		2			○				◎
		子どもの健康と安全	富永説子	1				2	○				◎
		子どもの食と栄養	朝日綾子	2	2				○				◎
子ども家庭支援論	花本美代	2			2		○		◎				
子どもの理解と援助	和田美紗子	1		2			○		◎				
子ども発達支援	太田民恵	2				2	○	◎	○				

科目区分	授業科目	教員名	単位数	開講年次 (数字は授業時間)				卒業必修	卒業選択	免許資格		備考	卒業に必要な単位数	
				1年		2年				幼稚園教諭一種	保育士			
				前	後	前	後							
専門に関する教育科目	保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	金子忍	1		2			○		◎	◎	必修28単位・選択22単位以上、合計50単位以上	
		健康領域指導法	矢野下美智子	2			2		○		◎	◎		
		人間関係領域指導法	西川勝利	2				2		○		◎		◎
		環境領域指導法	柘磨昭孝	2			2		○		◎	◎		
		言葉領域指導法	野々村憲	2			2		○		◎	◎		
		表現領域指導法(音楽)	辻勇介	2				2		○		◎		◎
		表現領域指導法(造形)	清見嘉文	2			2		○		◎	◎		
		表現領域指導法(身体表現)	矢野下美智子	2				2		○		◎		◎
		乳児保育Ⅰ	小田ひとみ	2		2				○				◎
		乳児保育Ⅱ	小田ひとみ	1			2			○				◎
		障害児保育	室積幸生	2			2			○				◎
		社会的養護Ⅱ	道下整	1			2			○				◎
		子育て支援	室積幸生	1				2		○				◎
	保育の表現技術	幼児と表現(音楽)	辻勇介	1	2				○		◎	◎		
		器楽Ⅰ	(注2)	1	2				○			◎		
		器楽Ⅱ	(注2)	1		2			○			○		
		器楽Ⅲ	(注2)	1			2		○			○		
		器楽Ⅳ	(注2)	1			2		○			○		
		幼児と表現(造形)	清見嘉文 金子忍	1		2			○		◎	◎		
		幼児と健康Ⅰ	矢野下美智子	1		2			○		◎	◎		
		幼児と健康Ⅱ	矢野下美智子	1			2		○		◎	○		
		幼児と言葉	野々村憲	2	2				○		◎	○		
		幼児と環境	柘磨昭孝	2		2			○		◎	○		
		幼児と人間関係	西川勝利	2			2		○		◎	○		
		幼児英語指導法	毛利カーリーナ	2				2		○				
	教育実習・保育実習	教育実習	富田雅子	5	*	*	*	*		○	◎			事前・事後指導1単位を含む
		保育実習Ⅰ	金子忍 西川勝利	4		*	*			○		◎		
		保育実習指導Ⅰ	金子忍 西川勝利	2		*	*			○		◎		
保育実習Ⅱ		金子忍	2				6		○		○			
保育実習Ⅲ		西川勝利	2			6			○		○			
保育実習指導Ⅱ		金子忍	1				2		○		○			
保育実習指導Ⅲ		西川勝利	1			2			○		○			
総合演習		保育・教職実践演習	奥新恵理	2				2		○	◎	◎		

【「免許・資格」欄：◎免許・資格必修科目／○免許・資格選択科目（保育士は9単位以上修得、但し、「保育実習Ⅱ、保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲ、保育実習指導Ⅲ」のいずれかを含むこと）】

(注1) 柘磨昭孝、清見嘉文、金子忍、西川勝利、富田雅子、花本美代、辻勇介

(注2) 住村順子、古本美和、米澤裕美子、梅田なつみ、原真理子、佐藤有紗、辻勇介

卒業に必要な単位

62単位以上

保育学科の学修成果

学修成果とは、卒業までに皆さんに身に付けてほしいことです。

学科ごとに、最終的な学修到達目標とその具体的な下位項目を設定しています。

カリキュラムマップは、科目ごとに、学修到達目標を示しています。

シラバス（授業計画）には、この科目を履修し、単位を修得すれば、どのような学修成果が得られるのかを学修到達目標の番号で示しています。

		学修到達目標	下位項目
保育学科	知識・理解	①保育の本質と目的について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の歴史、意義、制度、援助内容を理解している。 保育所保育、保育理念について理解している。 教職の意義、教員の役割、職務内容、教育の理念、歴史、思想について理解している。
		②保育に関する基本的知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 教育の思想・制度、歴史、教育課程の意義に関して理解している。 保育の思想・制度、歴史、保育課程の意義に関して理解している。 教育の基礎理論について理解している。
		③社会的自立を図るために必要な知識を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 社会的及び職業的自立を図るために必要な知識を理解している。
	汎用的技能	①子ども一人一人の生活や発達過程に応じた援助ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 障害について理解し支援の方法や健康への対応を理解している。 養護に関する倫理や実際について理解している。 発達に応じた援助や支援の方法について理解している。 様々な場面での援助や支援の方法について理解している。
		②保育に関する汎用的技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な保育技術を身に付けている。 多様な保育についての対応力を身に付けている。 保育支援についての対応力を身に付けている。
		③社会的自立を図るために必要な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 生活全般に関する知識・技能を活用して社会的及び職業的に自立ができる。
	態度・志向性	①子どもの最善の利益を尊重することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの最善の利益を保証することについて理解している。
		②正しい価値観と判断力を身に付け、自立した大人として市民としての責任を持った行動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 社会人としてのマナーを理解している。 保育者としての責任感を理解している。
	総合的な学修経験と創造的思考力	①これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> 保育計画・指導案の立案ができる。 保育計画・指導案を活かして実践ができる。 観察力・記録の取り方の技術を身に付けている。 保育支援への対応力を活かして実践ができる。
		②自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 保育に必要な課題を立てることができる。 課題の解決に取り組むことができる。

カリキュラムマップ

保育学科（令和7年度入学生）

	授業科目名	授業形態	学修到達目標												
			知識理解			汎用的技能			態度志向性		総合的な学修経験と創造的思考力				
			①	②	③	①	②	③	①	②	①	②			
教養に関する教育科目	生活と文化	体育理論	講義			○									
		体育実技	実技			○									
		日本国憲法	講義			○									
		社会心理学	講義			○									
		人間関係論	講義			○									
		社会生活とマナー	講義			○									
	SDGs	講義			○										
	数理・情報	リアルな数学	講義			○									
		情報リテラシー	演習			○			○						
		コンピュータ活用演習	演習			○			○						
		文書デザイン基礎	演習			○			○						
	コミュニケーション	日本語コミュニケーション	講義			○									
		英語会話	演習			○									
		ミュージックアンサンブル(ベーシック)	演習			○			○						
		ミュージックアンサンブル(アドバンス)	演習			○									
海外語学演習		演習			○										
専門に関する教育科目	保育の目的に関する科目	セミナーⅠ	演習										○		
		セミナーⅡ	演習										○		
		卒業研究	演習			○							○	○	
	保育の本質・目的に関する科目	社会福祉	講義	○	○								○		
		子ども家庭福祉	講義	○	○								○		
		保育原理	講義	○	○								○	○	
		教職・保育者論	講義	○	○								○	○	
		社会的養護Ⅰ	講義	○				○					○		
	教育制度・課程	教育原理	講義	○											
		教育制度	講義			○									
		特別支援教育	講義			○									
		教育の方法・課程	講義			○									
		保育の計画と評価	講義			○								○	○
	保育の対象の理解に関する科目	教育相談	講義						○	○				○	
		保育の心理学	講義			○									
		子ども家庭支援の心理学	講義			○			○	○				○	
		教育心理学	講義			○									
		子どもの保健	講義			○									
		子どもの健康と安全	演習			○			○						
		子どもの食と栄養	演習			○									
		子ども家庭支援論	講義						○	○				○	
		子どもの理解と援助	演習						○	○				○	
	保育の内容・方法に関する科目	子ども発達支援	講義						○	○				○	
		保育内容総論	演習			○							○	○	
		健康領域指導法	演習							○				○	
人間関係領域指導法		演習							○				○		
環境領域指導法		演習							○				○		
言葉領域指導法		演習							○				○		
表現領域指導法(音楽)		演習							○				○		
表現領域指導法(造形)		演習							○				○		
表現領域指導法(身体表現)		演習							○				○		
乳児保育Ⅰ		演習			○			○	○						
乳児保育Ⅱ		演習			○			○	○						
障害児保育		演習						○							
社会的養護Ⅱ		演習						○							
子育て支援		演習							○				○		
保育の表現技術	幼児と表現(音楽)	演習							○						
	器楽Ⅰ	演習							○						
	器楽Ⅱ	演習							○						
	器楽Ⅲ	演習							○						
	器楽Ⅳ	演習							○						
	幼児と表現(造形)	演習							○						
	幼児と健康Ⅰ	演習							○						
	幼児と健康Ⅱ	演習							○						
	幼児と言葉	演習							○						
	幼児と環境	演習							○						
	幼児と人間関係	演習							○						
	幼児英語指導法	講義							○						
	保育実習・実践演習	教育実習	実習											○	○
保育実習Ⅰ		実習											○	○	
保育実習指導Ⅰ		演習											○	○	
保育実習Ⅱ		実習											○	○	
保育実習Ⅲ		実習											○	○	
保育実習指導Ⅱ		演習											○	○	
保育実習指導Ⅲ		演習											○	○	

広島文化学園短期大学履修規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、広島文化学園短期大学学則（以下「学則」という。）に基づき履修及び単位の認定等について必要な事項を定める。

(配当年次)

第2条 学則第26条及び第27条による授業科目の配当年次については、別表（学科課程表）に定めるとおりとする。

第3条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に履修、修得することを原則とする。

2 上級学年の者は、下級学年に配当されている授業科目を履修することができる。但し、特別な場合を除いて、下級学年の者が上級学年配当の科目を履修することはできない。

(履修登録)

第4条 学生は、履修すべき授業科目について、指定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 履修登録は、履修届を学生部に届け出ることによって行うものとする。

3 登録日以後の登録及びその変更は、原則として認めない。

4 既に単位を修得した授業科目及び授業時間が重複する授業科目は、履修登録をすることができない。

5 履修登録のされていない授業科目については、単位修得を認めない。

6 学生が1年間に登録できる履修単位の上限は、48単位とする。

7 前項の規定にかかわらず、以下に該当するときは、前項の上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

- (1) セミナーⅠ、セミナーⅡ、卒業研究
- (2) 集中講義
- (3) 学外実習
- (4) 直前の学期におけるGPAが75.03.00以上の者
- (5) その他、科会の承認を得たとき

(授業の不開講)

第5条 資格取得のための必修科目を除く選択科目において、履修登録者数が5名以下の場合には、授業を開講しないことがある。

(単位認定)

第6条 授業実施時間の3分の2以上出席していない授業科目については、原則として単位修得を認めない。

(成績の評価)

第7条 試験等の評価は、秀 (S) , 優 (A) , 良 (B) , 可 (C) , 不可 (D) をもって表し、秀・優・良・可を合格とし、所定の単位が認定される。不可は不合格とし、単位は認定されない。

2 成績と評価基準は、次の通りとする。

評価基準	評価	成績表の表記	単位認定	GP
90点～100点	秀	S	認定	4
80点～89点	優	A	認定	3
70点～79点	良	B	認定	2
60点～69点	可	C	認定	1
59点以下	不可	D	不認定	—
未受験（受験資格有り）		T	不認定	—
未受験（受験資格無し）		Z	不認定	—
既修得単位認定	認定	N	認定	—
履修中		R	—	—

~~-(GPA)-~~

~~第7条 学則第36条の成績評価を基に、単位あたりの成績評価平均値 (GPA) を、以下の方法で算出する。~~

~~3 前項の成績評価を基に、単位当たりの成績評価平均値 (GPA) を、以下の方法で算出する。なお、算出にあたっては、小数点以下第3位を四捨五入することとする。~~

$$\frac{(\text{秀Sの単位数} \times 4 + \text{優Aの単位数} \times 3 + \text{良Bの単位数} \times 2 + \text{可Cの単位数} \times 1)}{\text{成績評価を受けた科目の総単位数}} \times 25$$

成績評価を受けた科目の総単位数

(追試験)

第8条 病気、就職試験、その他やむを得ない事由のため期末試験に欠席した者は、追試験受験願(様式810)とその事由を証明する書類(医者の診断書、事故又は延着証明書等)を提出し、認められれば追試験を受けることができる。ただし、追試験手数料として500円を納入しなければならない。

(再試験)

第9条 期末試験不合格者は、再試験受験願(様式810)を提出し、認められれば、再試験を受けることができる。再試験で認定された単位の評価は「可」とする。ただし、再試験手数料として1,000円を納入しなければならない。

(試験での不正行為)

第10条 試験等において不正行為をした者、若しくは不正行為があったと認められた者に対しては、当該科目を不合格とし、内容により、その後の全試験科目の受験を認めない。

~~(その他)~~

~~第11条 本規程に定めるものの他、必要な事項については、学長が教授会の意見を聴いたのち、これを定める。~~

(チューター制)

第11条 学生の履修指導や学修支援等の修学及び学生生活に関し、必要な指導と助言を行うためにチューター制を設ける。

2 チューターは入学時より卒業時まで配置する。

3 チューター制に関し必要な事項は、別に定める。

(学修履歴証明書)

第12条 教育課程に定められた授業科目の単位を修得した学生に対しては、学修成果に係る客観的資料として学修履歴証明書を交付することができる。学修履歴証明書に関し必要な事項は、別に定める。

(その他)

第13条 本規程に定めるものの他、必要な事項については、学長が教授会の意見を聴いたのち、これを定める。

附 則

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。なお、広島文化学園短期大学学科課程履修規程は、平成23年3月31日をもって廃止する。

2 この規程は、平成26年4月1日から施行する。(一部改正「履修単位の上限」)

3 この規程は、平成27年4月1日から施行する。(学校教育法改正に伴う改正)

4 この規程は、平成30年4月1日から施行する。(第5条(授業の不開講)の追加)

5 この規程は、平成31年4月1日から施行する。(第4条7 1年間の履修登録単位数の上限緩和追加による一部改正)

6 この規程は、令和7年9月21日から施行する。(第4条7項(4) GPA及び第7条成績の評価記載内容の一部改正、第11条チューター制の文言の追加、第12条 学修履歴証明書に関する文言の追加)

発 行 広 島 文 化 学 園 短 期 大 学
広 島 市 安 佐 南 区 長 束 西 三 丁 目 5 - 1
〒 7 3 1 - 0 1 3 6 電 話 (0 8 2) 2 3 9 - 5 1 7 1

発 行 日 2 0 2 5 (令 和 7) 年 4 月

印 刷 株 式 会 社 中 本 本 店
広 島 市 中 区 東 白 鳥 町 1 3 - 1 5
〒 7 3 0 - 0 0 0 4 電 話 (0 8 2) 2 2 1 - 9 1 8 1

